

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

文学部、生活科学部、看護学部 文学部現代英語学科・文化交流学科、未来教養学環

- ③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の4単位のパターンか6単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。

4単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ

6単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ

次の3科目、合計6単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。

・データサイエンスⅠ

・データサイエンスⅡ

・はじめての統計学

必要最低単位数 4-6 単位

履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅠ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(4回目)

(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンスⅠ」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) IGTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンス I」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) IGTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンス I」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンス I」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンス I」(9回目) Excel の基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンス II」(2回目) Excel の基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンス II」(3回目) Excel の基本操作3 基本統計量「データサイエンス II」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンス II」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンス II」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンス II」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンス II」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンス II」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンス II」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンス I」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンス I」(13回目) 検定と推定「データサイエンス II」(8回目) 線型回帰「データサイエンス II」(12回目) 時系列データ「データサイエンス II」(13回目) 線形計画法「データサイエンス II」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

文学部、生活科学部、看護学部 文学部児童教育学科

- ③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の4単位のパターンか6単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。

4単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ

6単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ

次の3科目、合計6単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。

・データサイエンスⅠ

・データサイエンスⅡ

・教育統計学

必要最低単位数 4-6 単位

履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅠ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		
教育統計学	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(4回目)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンスⅠ」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンス I」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンス I」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンス I」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンス I」(9回目) Excel の基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンス II」(2回目) Excel の基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンス II」(3回目) Excel の基本操作3 基本統計量「データサイエンス II」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンス II」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンス II」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンス II」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンス II」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンス II」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンス II」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンス I」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンス I」(13回目) 検定と推定「データサイエンス II」(8回目) 線型回帰「データサイエンス II」(12回目) 時系列データ「データサイエンス II」(13回目) 線形計画法「データサイエンス II」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

文学部、生活科学部、看護学部 生活科学部心理福祉学科

- ③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の4単位のパターンか6単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。
 4単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ
 6単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ
 次の2科目、合計4単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。
 データサイエンスⅠ、データサイエンスⅡ
 次の2科目のうち1科目、2単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。
 心理学統計法、はじめての統計学

必要最低単位数 4-6 単位 履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅠ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		
心理学統計法	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(4回目)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンスⅠ」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンス I」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンス I」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンス I」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンス I」(9回目) Excel の基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンス II」(2回目) Excel の基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンス II」(3回目) Excel の基本操作3 基本統計量「データサイエンス II」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンス II」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンス II」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンス II」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンス II」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンス II」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンス II」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンス I」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンス I」(13回目) 検定と推定「データサイエンス II」(8回目) 線型回帰「データサイエンス II」(12回目) 時系列データ「データサイエンス II」(13回目) 線形計画法「データサイエンス II」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

文学部、生活科学部、看護学部 生活科学部食物健康科学科

③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の4単位のパターンか6単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。

4単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ

6単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ

次の3科目、合計6単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。

・データサイエンスⅠ

・データサイエンスⅡ

・栄養統計処理

必要最低単位数 4-6 単位

履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンスⅠ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅠ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		
栄養統計処理	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(4回目)

(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンスⅠ」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) IGTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンスⅠ」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) IGTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(9回目) Excelの基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンスⅡ」(2回目) Excelの基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンスⅡ」(3回目) Excelの基本操作3 基本統計量「データサイエンスⅡ」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンスⅡ」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンスⅡ」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンスⅡ」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンスⅡ」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンスⅡ」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンスⅡ」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンスⅠ」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンスⅠ」(13回目) 検定と推定「データサイエンスⅡ」(8回目) 線型回帰「データサイエンスⅡ」(12回目) 時系列データ「データサイエンスⅡ」(13回目) 線形計画法「データサイエンスⅡ」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

文学部、生活科学部、看護学部

- ③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の4単位のパターンか6単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。

4単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ

6単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ

次の3科目、合計6単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。

・データサイエンス I

・データサイエンス II

・保健統計

必要最低単位数 4-6 単位

履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス I	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス I	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンス I	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス I	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅠ	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		
保健統計	4-1統計および数理基礎		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンスⅠ」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンスⅠ」(4回目)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンスⅠ」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンスⅠ」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンス I」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンス I」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンス I」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンス I」(9回目) Excel の基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンス II」(2回目) Excel の基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンス II」(3回目) Excel の基本操作3 基本統計量「データサイエンス II」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンス II」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンス II」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス I」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンス II」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンス II」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンス II」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンス II」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンス I」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンス I」(13回目) 検定と推定「データサイエンス II」(8回目) 線型回帰「データサイエンス II」(12回目) 時系列データ「データサイエンス II」(13回目) 線形計画法「データサイエンス II」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。

大学等名	茨城キリスト教大学
プログラム名	茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違する

経営学部

- ③ 修了要件

プログラムを構成する科目のうち、最低限次の6単位のパターンか8単位のパターンを卒業時まで履修し、単位を修得する。
 6単位のパターン: ITビジネス論、ビジネスリサーチ、はじめての統計学
 8単位のパターン: 情報システム論、経営情報論、ビジネスリサーチ、はじめての統計学
 次の3科目、合計6単位を卒業時まで履修し、単位を修得する。
 ・データサイエンス基礎
 ・データサイエンスⅡ
 ・はじめての統計学

必要最低単位数 6 単位 履修必須の有無 令和8年度以降に履修必須とする計画、又は未定

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
ITビジネス論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
ITビジネス論	2		○	○					
情報システム論	2		○	○					
経営情報論	2		○	○					
データサイエンス基礎	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
ビジネスリサーチ	2	○	○	○	○						
データサイエンス基礎	2	○	○	○	○						
データサイエンスⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
はじめての統計学	4-1統計および数理基礎		
経営特講Ⅳ 情報技術基礎	4-2アルゴリズム基礎		
情報システム演習	4-2アルゴリズム基礎		
オペレーションズ・リサーチ	その他		

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ITビジネス、特にインターネットを用いたビジネスの特徴や社会に与えた影響など、全体像を知る「ITビジネス論」(2回目) コンピュータの各種装置であるハードウェアについての基本知識と後の各論等で登場するプログラミングやデータベースに関する入門的な知識を得る。「情報システム論」(2回目) ネットワークの技術から規格、種類、インターネットの技術等を概説した後に、IGTの活用動向を知る。「情報システム論」(3回目) データから情報へ、経営資源としての情報「経営情報論」(1回目) IoT利用からデータ量の増加、そしてビッグデータをAIを利用して分析・活用するデータ駆動型社会。ビッグデータを活用し、個人に適した情報サービスの提供、消費者行動モデルの構築。さらなるAIの進化、人間とAIの関係性など、社会で起きている変化の概要を学ぶ。「データサイエンス基礎」(2回目)
	1-6	技術革新がもたらしたビジネスモデルの歴史的変遷、代表的なビジネスモデルの知識を得る。「ITビジネス論」(3回目) 情報の種類や分析方法等の基本と情報をビジネス活かす分析方法に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(11回目) 5G時代の到来とともに、更に進化するマルチメディアに関する基礎知識とビジネスでの活用事例を理解する。「情報システム論」(12回目) ビジネスプロセス革新「経営情報論」(5回目) シェアリングエコノミーや商品レコメンデーション、異常検知など、AI等を活用したさまざまな新しいビジネスモデルを学ぶ。また、今後さらに広く活用されるであろうAIの最新技術の活用例について学ぶ。「データサイエンス基礎」(7回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	電子認証や電子決済の仕組みを理解し、私達の生活での活用事例などを理解する。「ITビジネス論」(12回目) 組織の情報処理、経営戦略と情報「経営情報論」(2回目) 調査データやログデータなどのデータの種類、データをどのように得ているか。1次データ、2次データ、3次データといったデータの所有者に関することやデータのメタ化。構造化データと非構造化データ。ビッグデータとはどういうものなのか、またデータ処理の大まかな流れを学ぶ。「データサイエンス基礎」(3回目)
	1-3	eビジネスには様々なビジネスの形態が存在する。各ビジネスの形態を理解し、実例とともにeビジネスの概要を理解する。「ITビジネス論」(4回目) Webサイトを作成しただけでは、集客することはできない。Webサイトへ集客を促すマーケティング手法の基本及び全体像を把握する。「ITビジネス論」(6回目) 経営情報システムの変遷「経営情報論」(3回目) 企業における情報処理「経営情報論」(4回目) ビッグデータやIoT、ロボティクスといった新たな技術の進展によって、データとAIの活用領域が広がっている。研究開発、生産活動、販売・消費、文化活動などさまざまな分野での活用状況と、活用目的ごとのデータ・AI活用について学ぶ。「データサイエンス基礎」(4回目)

(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	日常生活の調べ物に欠かせない検索エンジンであるが、その成り立ちから現在まで、そして世界各国の検索エンジン事情を踏まえて理解する。「ITビジネス論」(7回目) システム開発の流れと要件定義やシステム化計画の流れを理解する。「情報システム論」(4回目) ユーザーの接点であるインターフェースの設計及びデータベースとファイルの違い等、データベースシステムについての基礎知識を得る。「情報システム論」(5回目) 業務用アプリケーションの種類等を学び、製造業におけるアプリケーションの概要を理解する。「情報システム論」(9回目) 販売管理システムや物流システムにおけるアプリケーションのほか、様々な業務アプリケーションに関する知識を得る。「情報システム論」(10回目) データ解析の具体的内容やAIの現状について学ぶ。また、密接に関係するデータの可視化や、解析対象となるデータの種類などについても学ぶ。「データサイエンス基礎」(5回目)
	1-5	アンケートやSNSへの投稿、行動履歴などのデータからパターンやルール、顧客の深層心理を発見する手法であるデータマイニングの基本知識を理解する。「ITビジネス論」(8回目) 構築した情報システムの運用管理の基礎知識について学ぶ。システム運用に欠かせないバックアップや管理のコスト管理などの基礎知識を全般的に理解する。「情報システム論」(6回目) IGT技術を活用して得られた情報を経営資源として、活用する基礎知識を学びつつ、マネジメント手法を理解する。「情報システム論」(7回目) データ分析による意思決定、情報技術による自動化、これらを進めるにあたり実際にはどのように行われるか、どのような課題があるのかを学ぶ。また、データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるのか、価値を生むためにはどのようなことに気をつけるべきかを学ぶ。「データサイエンス基礎」(6回目)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	コンピュータウイルス対策の必要性と対策、ネット上で発生した企業の不祥事など事例とともに、問題点を考察する。「ITビジネス論」(11回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) データを扱う場合に守らなければならない法制度、AIでデータを扱う場合に留意すべき説明可能性、アカウントビリティなどについて学ぶ。また、AI活用における負の事例も確認する。「データサイエンス基礎」(14回目)
	3-2	ITビジネスにも光と影があり、様々な事件が発生している。知的財産権、個人情報保護法、不正競争防止法などの判例から、ITビジネスの法的な基礎知識を学ぶ。「ITビジネス論」(13回目) ICTのサービス種類や形態、ライフサイクルを理解するとともに、システムのセキュリティ管理に関する知識を学ぶ。「情報システム論」(8回目) 情報化社会における課題(企業活動)「経営情報論」(13回目) 情報化社会における課題(情報通信技術、情報倫理)「経営情報論」(14回目) 情報漏洩などによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例をもとに、セキュリティ・プライバシーの観点からデータを守るための留意点を学ぶ。「データサイエンス基礎」(14回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	度数分布、代表値、範囲と標準偏差の統計の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(11回目) 歪度と尖度、カイ2乗検定、T検定と分散分析の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(12回目) 「データを読む」ための基本事項を学ぶ。母集団と標本抽出、統計情報を正しく理解する注意点を学ぶ。「データサイエンス基礎」(8回目) 質的変数、量的変数、尺度と統計量、グラフの利用について学ぶ。「データサイエンス基礎」(9回目) Excel の基本操作1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化「データサイエンスⅡ」(2回目) Excel の基本操作2 平均・標準偏差の算出と可視化「データサイエンスⅡ」(3回目) Excel の基本操作3 基本統計量「データサイエンスⅡ」(4回目) データ型と統計量(平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差)「データサイエンスⅡ」(5回目) 標本と母集団、正規分布、標本分布「データサイエンスⅡ」(7回目)
	2-2	相関関係の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(13回目) 単回帰の解析方法を理解する。「ビジネスリサーチ」(14回目) グラフや図を使用して分かりやすく表現することについて学ぶ。図解表現としてどのようなものがあるか、優れた可視化の例、不適切なグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス基礎」(10回目) グラフの種類、データ型とグラフ表現について学ぶ。「データサイエンス基礎」(11回目) データの視覚的方法(度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図)「データサイエンスⅡ」(6回目) データの関係性の調査 クロス集計表「データサイエンスⅡ」(9回目) データの関係性の調査 平均値の比較「データサイエンスⅡ」(10回目) データの関係性の調査 散布図、相関係数「データサイエンスⅡ」(11回目)
	2-3	アンケート調査の実施方法の種類や企画設計など、基本的知識を学んだ後に、第7回までの知識を活かして、実際にアンケートを作成する準備をする。「ビジネスリサーチ」(8回目) Googleノートにて、実際にアンケートを作成する。「ビジネスリサーチ」(9回目) 集計計画のプランニング、自由回答のカテゴリー化やクロス集計とクロス分析のポイントを学び、アンケート回収後の作業の手順を理解する。「ビジネスリサーチ」(10回目) 「データを扱う」基本的方法を学ぶ。データファイルの形式やデータ解析ツールについて学ぶ。「データサイエンス基礎」(12回目) データの集計、データ操作、複数テーブルの結合、注意点などについて学ぶ。「データサイエンス基礎」(13回目) 検定と推定「データサイエンスⅡ」(8回目) 線型回帰「データサイエンスⅡ」(12回目) 時系列データ「データサイエンスⅡ」(13回目) 線形計画法「データサイエンスⅡ」(14回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

日常生活のさまざまな分野でデータサイエンスが活用されていることを理解し、データを収集・分析し、データから価値を創出する一連の過程に関する基礎知識を身につける。また、データから有意義な洞察を引き出すための統計的手法を身につける。

科目コード	10137		科目ナンバリング			主な使用言語	日本語	
授業名	データサイエンスⅠ a					担当者	長谷川 博康	
基本情報	年次	1年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	17.発問と回答
基本情報	曜日時限	水曜5限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M L	
授業の概要	社会では、情報通信技術の発展によるインターネットの普及や、パソコンやスマートフォンの普及により、様々な分野が情報通信で繋が り、そのデータが日々蓄積されています。その蓄積されたデータを活用するため、データサイエンスやAIが注目されています。 また、政府では、AI戦略2019において「数理・データサイエンス・AI」を推奨しており、教育において、大学・高等専門学校では、文系・ 理系を問わず、すべての大学・高専生が、初級レベルの「数理・データサイエンス・AI」を習得することが目標として掲げられました。この ような流れを受けて、拠点大学を中心とした数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムでは、2020年にモデルカリキュラムを策 定し、発表しました。各大学等の「数理・データサイエンス・AI」の体系的な教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励する制 度が創設されました。 本講義では、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルを体系的に扱い学ぶ入門の講義を行います。							
キーワード	データサイエンス、AI、データ分析							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	データサイエンス全般について、一般的な入門レベルの知識になります。各回で前回の復習小テストをします。	評価方法（知識・技能）	各回小テスト	評価割合（知識・技能）	20%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	データサイエンスについて、全般的な知識レベルです。Excelで簡単なデータの操作を行うことができるようになります。知識の確認のため、講義全体のテストをします。	評価方法（思・判・表）	期末テスト	評価割合（思・判・表）	80%
学修に主体的に取り組む態度	授業については、入門レベルになりますので、深く話してないところがあります。内容について詳しく知りたい方は、授業内や授業後でも結構ですので、質問をしてください。書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	質問があれば、積極的に質問をしてください。もう少し深いレベルの書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。授業内での質問や授業後の質問でも構いません。何か疑問に思うことなどを質問してください。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	基本的に評価対象としないが、不当な行為があった場合には、厳重注意、減点の対象となる。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	第01回：講義の説明と内容 第02回：社会で起きている変化 第03回：社会で活用されているデータ 第04回：データとAIの活用領域 第05回：データとAIのための技術 第06回：データ・AI活用の現場 第07回：データ・AI活用の最新動向 第08回：データリテラシー：データを読む 第09回：尺度と統計量、グラフ 第10回：データリテラシー：データを説明する 第11回：グラフの種類、データ型とグラフ 第12回：データリテラシー：データを扱う 第13回：データの集計、データ操作、複数テーブルの結合 第14回：データ・AI利活用における留意事項 第15回：全体のまとめ
使用テキスト	「教養としてのデータサイエンス」 講談社 北川 源四郎（編集）、竹村 彰通（編集）、内田 誠一（著）、川崎 能典（著）、孝忠 大輔（著）、佐久間 淳（著）、椎名 洋（著）、他

	「AIデータサイエンスリテラシー入門（基礎学習）」 技術評論社 吉岡 剛志, 森倉 悠介, 小林 領, 照屋 健作（著） 毎回授業で資料を配布します。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	各回授業を受けた後に各回配布した資料の確認と授業内容の復習をしてください。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応します。 メールでも対応しますので、連絡先は学務部に確認して下さい。
留意事項	特になし

科目コード	10166		科目ナンバリング			主な使用言語	日本語	
授業名	データサイエンスⅡ a					担当者	長谷川 博康	
基本情報	年次	1年	単位数	2単位	授業形式	演習	AL要素	17.発問と回答
基本情報	曜日時限	水曜5限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M L	
授業の概要	社会では、情報通信技術の発展によるインターネットの普及や、パソコンやスマートフォンの普及により、様々な分野が情報通信で繋がっており、そのデータが日々蓄積されています。その蓄積されたデータを活用するため、データサイエンスやAIが注目されています。 また、政府では、AI戦略2019において「数理・データサイエンス・AI」を推奨しており、教育において、大学・高等専門学校では、文系・理系を問わず、すべての大学・高専生が、初級レベルの「数理・データサイエンス・AI」を習得することが目標として掲げられました。このような流れを受けて、拠点大学を中心とした数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムでは、2020年にモデルカリキュラムを策定し、発表しました。各大学等の「数理・データサイエンス・AI」の体系的な教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励する制度が創設されました。 データサイエンスⅡでは、Excel基本操作から統計量について、データの関係性から線型回帰、時系列分析までを扱い、講義します。							
キーワード	データ分析、データサイエンス、AI							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	データサイエンス全般について、一般的な入門レベルの知識になります。各回で前回の復習小テストをします。	評価方法（知識・技能）	授業ごとの課題・レポートと学期末試験	評価割合（知識・技能）	20%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	データサイエンスについて、全般的な知識レベルです。Excelで簡単なデータの操作を行うことができるようになります。知識の確認のため、講義全体のテストをします。	評価方法（思・判・表）	授業ごとの課題・レポートと学期末試験	評価割合（思・判・表）	80%
学修に主体的に取り組む態度	授業については、入門レベルになりますので、深く話してないところがあります。内容について詳しく知りたい方は、授業内や授業後でも結構ですので、質問をしてください。書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	質問があれば、積極的に質問をしてください。もう少し深いレベルの書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。授業内での質問や授業後の質問でも構いません。何か疑問に思うことなどを質問してください。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	基本的に評価対象としないが、不当な行為があった場合には、厳重注意、減点の対象となる。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	第01回：講義の説明と内容 第02回：Excel の基本操作 1 Excelの基本的疎な操作方法、データの可視化 第03回：Excel の基本操作 2 平均・標準偏差の算出と可視化 第04回：Excel の基本操作 3 基本統計量 第05回：データ型と統計量（平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差） 第06回：データの視覚的方法（度数分布表、ヒストグラム、箱ひげ図） 第07回：標本と母集団、正規分布、標本分布 第08回：検定と推定 第09回：データの関係性の調査 クロス集計表 第10回：データの関係性の調査 平均値の比較 第11回：データの関係性の調査 散布図、相関係数 第12回：線型回帰 第13回：時系列データ 第14回：線形計画法 第15回：全体のまとめ
使用テキスト	【使用テキスト】 吉岡 剛志、森倉 悠介、小林 領、照屋 健作（著）『AIデータサイエンスリテラシー入門（基礎学習）』（技術評論社）

	生稲史彦、高井文子、野島美保（著）『コア・テキスト 経営情報論』（新世社） 他に授業で資料を配布します。 【参考資料】 高橋伸夫(著)『コア・テキスト 経営統計学』（新世社）
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	各回授業を受けた後に各回配布した資料の確認と授業内容の復習をしてください。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応します。 メールでも対応しますので、連絡先は学務部に確認して下さい。
留意事項	特になし

科目コード	41132	科目ナンバリング			主な使用言語	日本語			
授業名	データサイエンス基礎					担当者	長谷川 博康		
基本情報	年次	1年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	17.発問と回答	
基本情報	曜日時限	月曜2限	関連資格			履修可能学科等	E P e P c C W F N M L		
授業の概要	社会では、情報通信技術の発展によるインターネットの普及や、パソコンやスマートフォンの普及により、様々な分野が情報通信で繋がっており、そのデータが日々蓄積されています。その蓄積されたデータを活用するため、データサイエンスやAIが注目されています。 また、政府では、AI戦略2019において「数理・データサイエンス・AI」を推奨しており、教育において、大学・高等専門学校では、文系・理系を問わず、すべての大学・高専生が、初級レベルの「数理・データサイエンス・AI」を習得することが目標として掲げられました。このような流れを受けて、拠点大学を中心とした数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムでは、2020年にモデルカリキュラムを策定し、発表しました。各大学等の「数理・データサイエンス・AI」の体系的な教育プログラムを文部科学大臣が認定及び選定して奨励する制度が創設されました。 データサイエンス基礎では、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルを体系的に扱い学ぶ入門の講義を行います。								
キーワード	データサイエンス、AI、データ分析								

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	データサイエンス全般について、一般的な入門レベルの知識になります。各回で前回の復習小テストをします。	評価方法（知識・技能）	各回小テスト	評価割合（知識・技能）	20%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	データサイエンスについて、全般的な知識レベルです。Excelで簡単なデータの操作を行うことができるようになります。知識の確認のため、講義全体のテストをします。	評価方法（思・判・表）	期末テスト	評価割合（思・判・表）	80%
学修に主体的に取り組む態度	授業については、入門レベルになりますので、深く話してないところがあります。内容について詳しく知りたい方は、授業内や授業後でも結構ですので、質問をしてください。書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	質問があれば、積極的に質問をしてください。もう少し深いレベルの書籍や説明をしますので、気軽に聞いてください。授業内での質問や授業後の質問でも構いません。何か疑問に思うことなどを質問してください。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	基本的に評価対象としないが、不当な行為があった場合には、厳重注意、減点の対象となる。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	第01回：講義の説明と内容 第02回：社会で起きている変化 第03回：社会で活用されているデータ 第04回：データとAIの活用領域 第05回：データとAIのための技術 第06回：データ・AI活用の現場 第07回：データ・AI活用の最新動向 第08回：データリテラシー：データを読む 第09回：尺度と統計量、グラフ 第10回：データリテラシー：データを説明する 第11回：グラフの種類、データ型とグラフ 第12回：データリテラシー：データを扱う 第13回：データの集計、データ操作、複数テーブルの結合 第14回：データ・AI活用における留意事項 第15回：全体のまとめ
------	---

使用テキスト	「教養としてのデータサイエンス」 講談社 北川 源四郎 (編集), 竹村 彰通 (編集), 内田 誠一 (著), 川崎 能典 (著), 孝忠 大輔 (著), 佐久間 淳 (著), 椎名 洋 (著), 他 「AIデータサイエンスリテラシー入門 (基礎学習)」 技術評論社 吉岡 剛志, 森倉 悠介, 小林 領, 照屋 健作 (著) 毎回授業で資料を配布します。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	各回授業を受けた後に各回配布した資料の確認と授業内容の復習をしてください。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応します。 メールでも対応しますので、連絡先は学務部に確認して下さい。
留意事項	特になし

科目コード	10152	科目ナンバリング		主な使用言語		日本語		
授業名	はじめての統計学					担当者	有澤 正樹	
基本情報	年次	1年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	18.その他
基本情報	曜日時限	月曜5限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M L	
授業の概要	統計学とは、アンケートや観測によって採取された大量のデータの中に存在する法則性を扱う科学的分析方法であり、自然科学、社会科学、人文科学等の分野で広く利用されている。 例えば教育の分野においては、大勢の学生、生徒、児童に関するデータ（試験の点数かも知れないし、身長や体重などの健康に関するデータ、児童の心理を調べるための調査データかも知れない）を客観的（科学的）に扱っていく上で、統計学は必要不可欠である。 また経営の分野においては、データの分析に多変量解析（複数のデータを統計的に分析し、その関係性を明らかにする方法）がよく用いられるが、多変量解析を理解するためには、統計学の基礎を十分に理解していなければならない。 さらに介護福祉や栄養管理の現場においても、日々の変化や成果を客観的に評価し、報告することは大切な仕事のひとつであり、客観的な評価のために統計処理は必要不可欠といえるだろう。 このように、どのような領域においても、データを客観的・科学的に分析・評価するためには、統計学が必要不可欠といえるのである。また、近年ではデータサイエンスに対する急速な需要の高まりにより、その基礎となる統計学への注目度もより一層の高まりを見せている。そこでここでは、どのような領域においても共通する統計学の基礎について、演習（教科書の例題と同様の簡単な課題）を取り入れながら解説する。							
キーワード	統計学、分布の特性値（平均、分散、標準偏差...）、確率、分布（二項分布、正規分布、 t 分布、 χ^2 分布）、母数の推定、仮説検定、データサイエンス							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	統計学の分析概念を理解し、基本的な統計処理を行うことができる。	評価方法（知識・技能）	課題＋定期試験	評価割合（知識・技能）	36%+50% もしくは 0%+100%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	「知識・技能」と合わせて評価する。	評価方法（思・判・表）	課題、定期試験	評価割合（思・判・表）	0%
学修に主体的に取り組む態度	章末毎に実施する簡単な課題に積極的に取り組み、遅滞なく課題を提出する。（課題がすべて提出されていれば、最低でも 14 点が課題点に加算される。）				評価割合（学修態度）	14% もしくは 0%
実践的ボランティア	直接的な評価対象とはしない。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしないが、課題作成において不正行為があった場合は、減点や失格の対象となるので注意すること。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	【第01回】 統計学はどのような学問か 【第02回】 標本分布の特性値 1（標本抽出、度数分布表、ヒストグラム） 、 課題 1 【第03回】 標本分布の特性値 2（平均、分散、標準偏差など） 、 課題 2 【第04回】 確率と確率分布（二項分布、ポアソン分布） 【第05回】 復習および課題 3 【第06回】 一様分布と正規分布 【第07回】 復習および課題 4 【第08回】 標本平均の分布と母平均の推定 【第09回】 復習および課題 5 【第10回】 t 分布と母平均の推定 【第11回】 復習および課題 6 【第12回】 χ^2 分布と母標準偏差の推定 【第13回】 復習および課題 7 【第14回】 仮説検定
------	--

	【第15回】復習および課題 8 定期試験
使用テキスト	鳥居泰彦 『はじめての統計学』 日本経済新聞社、1994年
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	章末に実施する課題が復習のポイントとなっているので、採点返却時の解説と返却後研究室前に常時掲示する模範解答により理解を深めること。 なお、評価方法は次のいずれかによるものとする。 1. 課題 36% + 定期試験 50% + 主体性 14% による総合評価 2. 定期試験 100% のみによる評価 1 または 2 による評価の高い方を最終評価とする。従って、定期試験に不安を覚える者は課題をしっかり抑えておくことが、また、課題が思わしくなかった者は定期試験で挽回することが重要である。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡すること。
授業時間外の連絡手段	Teams の当該科目チーム内（投稿）、またはメール（maa@icc.ac.jp）、もしくはオフィスアワーに研究室で対応する。曜日・時限等については UNIPA で確認すること。
留意事項	出席は Teams 内の出席確認フォーム（Forms）から入力していただくため、Teams にアクセス可能なデバイス（スマートフォン等）を携帯すること。また、課題は Teams 上で PDF 形式で掲出され、課題 PDF への直接書き込み（タブレット＋スタイラスペン）、または PDF を印刷して直接鉛筆等で記入の後、スマホ等で撮影して作成した画像または PDF を Teams 課題に添付・提出となる（難しい作業ではない）。基本的に課題は授業時間外での作業が中心となるため、スマホ以外のタブレットや PC 等のデバイスは必携ではない。 数学が不得意な者は、四則演算、分数 など、受講までに各自で簡単な復習を行っておくこと。平方根（ルート）計算ができる電卓を持参すること。ただし、定期テストではスマホの電卓アプリは利用できない（スマホ持ち込み禁止）ので、物理的な電卓を用意すること。 数学が苦手であっても理解できるように、できるだけ丁寧にわかりやすく解説する。なお、定期試験は教科書・ノート・課題プリント・電卓の持ち込みが可能である。

科目コード	13017		科目ナンバリング	PE10C07K		主な使用言語	日本語	
授業名	教育統計学 Pe					担当者	佐々木 隆宏	
基本情報	年次	1年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	発表
基本情報	曜日時限	火曜2限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F M L	
授業の概要	教育に携わる者にとって，教育に関するデータをもとに導かれた結論を批判的に解釈することや，あるいは教育データから得られる結論を他人に説明することは必須である．また，日常の教育活動において，児童・生徒の実態を捉え，自らの教育活動に活かすことも必要である．本授業では，そのために必要な知識・技能を学ぶ．小学校や中学校で学習した統計に関する知識の復習から始めて，さらに発展した内容も基礎から学ぶことで，教師に求められる統計の資質・能力を身に付けることを目的とする．							
キーワード	教育統計学，記述統計，推測統計							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	統計の知識・技能を身に付ける	評価方法（知識・技能）	小テストと課題	評価割合（知識・技能）	評価：毎回の授業の小テスト（50%）、授業中に出す課題（40%）、授業に対する態度（10%）をもとに総合的に判断する。
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	評価：毎回の授業の小テスト（50%）、授業中に出す課題（40%）、授業に対する態度（10%）をもとに総合的に判断する。	評価方法（思・判・表）	評価：毎回の授業の小テスト（50%）、授業中に出す課題（40%）、授業に対する態度（10%）	評価割合（思・判・表）	評価：毎回の授業の小テスト（50%）、授業中に出す課題（40%）、授業に対する態度（10%）

				度（１０％） をもとに総合的に判断する。		業に対する態度（１０％） をもとに総合的に判断する。
学修に主体的に取り組む態度	評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。					評価割合（学修態度） 評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。
実践的ボランティア	評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。					評価割合（ボランティア） 評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。
公正性	評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。					評価割合（公正性） 評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。

			度（１０％） をもとに総合的に判断する。
その他	なし	評価割合（その他）	評価：毎回の授業の小テスト（５０％），授業中に出す課題（４０％），授業に対する態度（１０％）をもとに総合的に判断する。

授業計画	第1回：オリエンテーション～教育データの読み書き～ 第2回：記述統計の基礎Ⅰ～小学校・中学校までの統計の復習～ 第3回：記述統計の基礎Ⅱ～数学Ⅰ「データの分析」の復習～ 第4回：場合の数と確率の基礎 第5回：推測統計の基礎Ⅰ～確率変数と確率変数の期待値と標準偏差～ 第6回：推測統計の基礎Ⅱ～確率分布～ 第7回：推測統計の基礎Ⅲ～区間推定～ 第8回：推測統計の基礎Ⅳ～検定～ 第9回：多変量解析の基礎Ⅰ～重回帰分析の基礎～ 第10回：多変量解析の基礎Ⅱ～主成分分析と因子分析の基礎～ 第11回：質的データに対する統計の基礎 第12回：教育データの読み書き①～日常の成績データ等の読み書き～ 第13回：教育データの読み書き②～教育資料の読み書き～ 第14回：教育データの読み書き③～OECD資料の読み～ 第15回：学習のまとめ
使用テキスト	授業中に資料を配付する

予習・復習のポイントと参考文献・資料等	なし
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応しますので学務部へ相談してください。
授業時間外の連絡手段	研究室において対応します。曜日・時限は授業中にお知らせします。
留意事項	パソコンを使用します。2年次生以上でP Cをもっていない学生は相談してください。

科目コード	21130	科目ナンバリング		主な使用言語	日本語			
授業名	心理学統計法				担当者	國見 充展		
基本情報	年次	カリキュラムにより異なります。	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	1 7. 発問と回答
基本情報	曜日時限	木曜4限	関連資格	心理 福祉心理 公認心理	履修可能学科等	W		
授業の概要	【特例期間中の授業形態】遠隔授業(同時双方向型)および課題研究型							
	心理学研究を行う上で必要となる統計学の理論と方法，およびその基礎となる考え方を解説する。数学的側面よりも概念的理解を重視し，具体的な心理学研究の事例に沿うよう授業をすすめる。							
キーワード	心理統計							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	① 心理学で用いられる統計手法の習得 ② 統計に関する基礎的な知識の理解	評価方法（知識・技能）	定期試験課題	評価割合（知識・技能）	5 0 %
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	①心理学研究上において適切な統計手法を選択できる。 ②統計によって主張に客観的，理論的根拠を持たせられる。	評価方法（思・判・表）	同上	評価割合（思・判・表）	5 0 %
学修に主体的に取り組む態度	直接的な評価対象としない。ただし授業への参加，他者の尊重、報告・連絡・相談の姿勢、他者とのコミュニケーションの程度に著しく問題があると判断された場合は，減点や厳重注意の対象となる。				評価割合（学修態度）	0 %
実践的ボランティア	直接的な評価対象としない。				評価割合（ボランティア）	0 %
公正性	直接的な評価対象としない。ただし授業中の発言やレポート内の記述において人権侵害・差別的発言など著しく公平性を欠く言動があった場合，問題があると判断された場合は，減点や厳重注意の対象となる。				評価割合（公正性）	0 %
その他	特になし。				評価割合（その他）	0 %

授業計画	1.統計法と測定値の取り扱い 2.度数分布と統計図表 3.中心傾向の測度 4.変数の散布度の概念とその重要性 5.分散と標準偏差 6.正規分布・標準正規分布 7.パーセンタイル点・順位 8.直線相関と直線回帰 9.相関係数に影響する要因と解釈時の留意点 10.統計的検定の考え方 11.検定の方向性 12.第1種と第2種の誤り，検出力 13.t分布，母平均と標本平均の検定 14.母平均の区間推定 15.2つの平均値の差の検定 定期試験
使用テキスト	指定しない。資料は随時配布する。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	実験データを統計的に処理するため，統計および数学の知識があると有利。しかし授業内容の予習復習によって「数学が苦手」でも十分受講可能。

障がいのある履修者への対応	可能な限り対応しますので、まずは学務部と担当教員に相談してください。
授業時間外の連絡手段	UNIPAによる。
留意事項	1. 本科目の単位修得後に「心理学実験Ⅰ」を履修することができる。 2. 講義中の私語、電話や食事等、他の学生の履修や授業進行の妨げとなる行為を禁止する。途中退室を認めるので、それらを済ませてから再度入室すること。 3. 2. を繰り返す場合、妨害の意図の有無に関わらず以降の受講を断る場合がある。

科目コード	22179		科目ナンバリング	FS20C01J		主な使用言語	日本語	
授業名	栄養統計処理 a					担当者	有澤 正樹	
基本情報	年次	2年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	03.実験・実技・体験
基本情報	曜日時限	木曜6限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M	
授業の概要	統計学とは、アンケートや観測によって採取された、大量のデータの中に存在する法則性を扱う科学的分析方法であり、自然科学、社会科学、人文科学等の分野で広く利用されている。もちろん、管理栄養士や栄養士においても、日々の変化や成果を客観的に評価し、報告することは大切な仕事のひとつであり、客観的な評価のために統計処理は必要不可欠といえるだろう。 管理栄養士や栄養士は様々な集団や個人を対象として、栄養ケア、栄養教育、栄養管理、公衆栄養活動などを介し、積極的に活動（実践栄養活動）していくことが求められている。そして、実践栄養活動を常に科学的な視点で捉え、問題点を整理・分析し、改善していくことが求められる。その中で、栄養情報の収集、評価、提供に必要な様々な知識や技術を習得することが大切である。 ここでは、栄養情報の評価、分析に必要な統計学の基礎を表計算ソフトを用いた実践演習を中心に解説する。 具体的な例をひとつ挙げよう。規則的・安定的な生活を送っていても、人の体重は日々変動している。そのような中、栄養指導により体重がいくらか減少したとしよう。ではこの体重の減少は、日々の変動の範囲内といえるのか、それとも栄養指導の成果として、明らかに減少したといえるのか。このようなことが、統計学を用いることにより科学的に評価できる。							
キーワード	統計学、統計処理、データサイエンス、表計算、グラフ、科学的分析、管理栄養士、栄養士、公衆栄養活動、実践栄養活動							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	統計学の基礎を理解し、表計算ソフトを利用して基本的な統計処理を行うことができる。	評価方法（知識・技能）	課題	評価割合（知識・技能）	90%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	栄養学ほかの専門知識に基づき、統計処理で得られた事実に対してその原因の推論や考察ができる。	評価方法（思・判・表）	課題	評価割合（思・判・表）	10%
学修に主体的に取り組む態度	直接的な評価対象とはしないが、その結果が上記「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」に反映されるものとして扱う。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティアリズム	直接的な評価対象とはしないが、PC の学習（広義で生産性を向上させるためにあらゆる場面で積極的に PC を利用できるようになること）では、他者に教え、他者から教わることが有効である。				評価割合（ボランティアリズム）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしないが、課題作成において不正行為があった場合は、減点や失格の対象となるので注意すること。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	【第01回】 データを集めよう 【第02回】 度数分布表によるデータのまとめ方 【第03回】 平均値と標準偏差によるデータのまとめ方 【第04回】 グラフ表現によるデータのまとめ方 【第05回】 散布図・相関係数によるデータのまとめ方 【第06回】 回帰直線によるデータのまとめ方 【第07回】 クロス集計表によるデータのまとめ方 1（オッズとオッズ比） 【第08回】 確率分布とその数表の作り方 【第09回】 区間推定によるデータのまとめ方 【第10回】 仮説検定によるデータのまとめ方 1（対応のある平均の差の検定と比率の検定） 【第11回】 仮説検定によるデータのまとめ方 2（独立2群の平均の差の検定と比率の差の検定） 【第12回】 クロス集計表によるデータのまとめ方 2（独立性の検定） 【第13回】 重回帰分析によるデータのまとめ方 【第14回】 時系列データのまとめ方と明日の予測 【第15回】 まとめ
------	---

使用テキスト	石村友二郎、廣田直子、石村貞夫 『よくわかる統計学 介護福祉・栄養管理データ編 [第3版]』 東京図書、2020年
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	鳥居泰彦 『はじめての統計学』 日本経済新聞社、1994年 コンピュータ実習 https://www.icc.ac.jp/maa/cp/ 統計学のこと https://www.icc.ac.jp/maa/tdiary/?category=%E7%B5%B1%E8%A8%88%E5%AD%A6
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡すること。
授業時間外の連絡手段	Teams の当該科目チーム内（投稿）、またはメール（maa@icc.ac.jp）、もしくはオフィスアワーに研究室で対応する。曜日・時限等については UNIPA で確認すること。
留意事項	PC 教室での授業であるため個人デバイスは必要としない。 Windows（コンピュータ基礎I）と Excel（コンピュータ基礎II）の基本操作ができること。 感染症関連による公欠の場合、希望があれば授業を Teams で配信（ただし、あくまで非公式受講となるので公欠扱い）することが可能なので、希望者は事前にメールで連絡すること。 教養課程の「はじめての統計学」を併せて履修（後でも先でも）するとより理解が深まるため、履修を推奨する。なお、課題については Teams の課題機能を用いてコメントを付与する。

科目コード	31179		科目ナンバリング	NU30C01K		主な使用言語	日本語	
授業名	保健統計					担当者	齊藤 具子	
基本情報	年次	3年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	16. 振り返り用紙と応答 17. 発問と回答
基本情報	曜日時限	水曜3限	関連資格	教職 看護 保健		履修可能学科等	N	
授業の概要	Evidenced Based Medicine（EBM）科学的根拠に基づいた医療とEvidence-based Nursing（EBN）看護を実践するために必要な保健統計の基礎を学び、保健師国家試験に必要な知識の習得をめざします。							
キーワード	尺度、代表値、正規分布、散布図、相関、年齢調整死亡率、スクリーニング、 t 検定、 χ^2 乗検定							

学位授与方針との関係							
知識・技能	到達目標（知識・技能）	情報を科学的に整理・分析する方法を学び、効果的に活用することができる。 授業で実施した各種検定について概ね正しく説明することができる。	評価方法（知識・技能）	学期末筆記試験	評価割合（知識・技能）	70%	
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	人口動態統計のデータからグラフを作成し、その背景を説明できる。 各種衛生統計の現状と動向の把握ができる。 今後の学習に必要なとなる学術情報の入手及び活用に関する方法を理解することができる。 ほぼ毎回次回の授業の初めに前回の授業の内容について小テストを実施し、復習の動機付けとする。	評価方法（思・判・表）	小テスト	評価割合（思・判・表）	30%	
学修に主体的に取り組む態度	直接的な評価対象とはしない。				評価割合（学修態度）	0%	

実践的ボランティア	直接的な評価対象とはしない。	評価割合（ボランティア）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしない。 ただし不正があった場合は、厳しく対処するので注意すること。	評価割合（公正性）	0%
その他	特になし。	評価割合（その他）	0%

授業計画	第1回：変数と尺度 第2回：度数分布表と度数分布図 第3回：代表値（平均値，中央値，最頻値） 第4回：範囲，分散，標準偏差，変動係数 第5回：人口ピラミッド 第6回：人口動態統計 第7回：平均寿命・健康寿命 第8回：スクリーニング 第9回：年齢調整死亡率 第10回：クロス集計表 第11回：散布図 第12回：共分散と相関係数 第13回：母集団と標本 第14回：t 検定 第15回： χ^2 乗検定 定期試験
使用テキスト	【教科書】 『楽しく学べる！看護学生のための疫学・保健統計（改訂3版）』 浅野嘉延著 南山堂

	【参考書】 『国民衛生の動向 2022/2023』 厚生統計協会 授業内で適宜資料を配布します。
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	次の授業内容について未知の用語などを調べておく。(90分) 授業後は、次の時間初めの小テストに備えて十分に復習をする。(90分)
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応しますので、学務部などに連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに対応します。連絡は公開メールアドレスにメールしてください。
留意事項	先に学習した「疫学」の内容と重なる部分があると思いますが、復習ととらえて学習してください。

科目コード	41127		科目ナンバリング			主な使用言語	日本語	
授業名	情報技術基礎					担当者	長谷川 博康	
基本情報	年次	3年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	17. 発問と回答
基本情報	曜日時限	月曜4限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M	
授業の概要	現在、IT関連企業だけでなく、あらゆる企業において、コンピュータを使って仕事をしています。そういった意味で、仕事をしていく上では、ITに対する基礎知識を必須となっています。また、ITに携わる業務では、その知識を証明するための資格として、情報処理技術者試験があります。その資格のエントリーレベルの資格として、ITパスポート資格があります。							
	ITパスポート試験は、ITに対する知識が広範囲にわたるので、ITパスポート資格を学ぶことで、IT全般の知識をつけていくことができます。この講義では、ITパスポート試験を通して、ITに関する広い知識を身に付けることを目指します。							
キーワード	ITパスポート							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	ITに対する基礎知識、IT全般の知識を身に付ける。	評価方法（知識・技能）	小テスト	評価割合（知識・技能）	80%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	ITパスポートの資格を取る知識を身に付ける。	評価方法（思・判・表）	期末テスト	評価割合（思・判・表）	20%
学修に主体的に取り組む態度	理解を確認したり深めるために、授業中に発問する。良い回答があった場合には評価する。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	授業内での他の受講者へのサポートや理解を深めるための質問、協力は評価として加点する。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしません。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	第01回：講義の説明と内容 第02回：ハードウェア 第03回：ソフトウェア 第04回：システム構成 第05回：1 から 3 のまとめ 第06回：ネットワーク 第07回：セキュリティ 第08回：データベース 第09回：アルゴリズムとプログラミング 第10回：4 から 7 のまとめ 第11回：マネジメント 第12回：企業活動と法務 第13回：経営戦略とシステム戦略 第14回：8 から10のまとめ 第15回：全体のまとめ、テストについて
使用テキスト	「栢木先生のITパスポート教室」（技術評論社出版） 栢木 厚（著）
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	参考図書として、以下の書籍を挙げておきます。 「栢木先生のITパスポート教室準拠 書き込み式ドリル」（技術評論社 出版） 栢木厚（監修）

	「ITパスポート パーフェクトラーニング過去問題集」(技術評論社 出版) 五十嵐 聡 著
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応します。 メールでも対応しますので、連絡先は学務部に確認して下さい。
留意事項	特になし

科目コード	41128	科目ナンバリング			主な使用言語	日本語			
授業名	情報システム演習					担当者	米岡 英治		
基本情報	年次	2年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	03実験・実技、体験 05即時応答 16 振り返り用紙と応答	
基本情報	曜日時限	木曜2限	関連資格			履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M		
授業の概要	企業は多くの情報を管理・活用しています。他企業や顧客から情報を入手するとともに、顧客への情報発信も行っています。これらの仕組みの開発は、一部の専門技術を持った人達だけの業務ではありません。情報を使う側の業務担当者が開発に携わることも多くなっています。今後DX（デジタルトランスフォーメーション）が進展していく中で対応していくためには、さまざまな事柄をつなぎ合わせ、ICTを活用していく必要があります。 本科目では、業務の自動化として注目されているRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の利用、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を活用したWebサイト作成、データ処理を行うBIツール（ビジネスインテリジェンスツール）について学びます。また、担当教員の実務経験から考えられる内容も踏まえて、今後の進展に関する考察をしていきます。								
キーワード	情報システム、情報管理、DX、RPA、CMS、BI								

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	DX時代においてさまざまな情報管理や情報発信に対しての変革が必要なことを理解し、今後どのような取り組みが必要か検討することができる。	評価方法（知識・技能）	リフレクシオンノート、レポート	評価割合（知識・技能）	40%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	授業で扱った内容に基づいて、Webサイト、ロボット等を作成できる。	評価方法（思・判・表）	課題作成、提出物	評価割合（思・判・表）	60%
学修に主体的に取り組む態度	Webサイト、ロボットの作成状況と作成内容から、「思考力・判断力・表現力」とあわせて評価する。 他の学生の学修に支障をきたすような迷惑行為がみられた場合には、厳重注意および減点の対象とする。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	直接的な評価対象とはしない。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	直接的な評価対象とはしない。ただし作成したWebサイトなどに人権侵害・差別的など著しく公正性を欠く内容があった場合は、減点や厳重注意の対象となるので注意すること。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	【第01回】 イントロダクション 授業概要、情報システムとは 【第02回】 DX（デジタルトランスフォーメーション） 【第03回】 RPA基礎（1） RPA概要、環境設定 【第04回】 RPA基礎（2） メモ帳操作、ブラウザ操作ロボット作成 【第05回】 RPA基礎（3） Excel操作ロボット作成 【第06回】 RPA基礎（4） 応用ロボット作成（1） 【第07回】 RPA基礎（5） 応用ロボット作成（2） 【第08回】 CMS基礎（1） Webサイト作成概要（CMS）、環境設定 【第09回】 CMS基礎（2） 管理設定、Webサイトテーマ設定、基本構成 【第10回】 CMS基礎（3） 記事構成、設定 【第11回】 CMS基礎（4） Webページ作成（1） 【第12回】 CMS基礎（5） Webページ作成（2） 【第13回】 BIツール基礎（1） BIツールとは 【第14回】 BIツール基礎（2） データ処理とレポートの出力 【第15回】 全体振り返り、ツール連携の検討
使用テキスト	資料をそのつど配布します。

予習・復習のポイントと参考文献・資料等	配布資料について復習するとともに、新聞・雑誌などで企業動向に注意しておくこと。 自身のPCに環境を構築することで、授業時間外においても動作確認等を行うことが望ましい。 講義において参考資料を指示します。
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡すること。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応する。曜日・時間等については講義時間に案内する。
留意事項	課題作成に対するフィードバックを授業時間に口頭で行います。 WindowsPCを使用します。持参すること。 MacのノートPC利用者は事前に相談すること。 BIツールではgoogleアカウントを使用します。 PC環境によっては、利用アプリの制限が出ることもある。その場合は、受講内容に関する調整を行う。

科目コード	41129	科目ナンバリング		主な使用言語	日本語			
授業名	オペレーションズ・リサーチ				担当者	長谷川 博康		
基本情報	年次	3年	単位数	2単位	授業形式	講義	AL要素	17 発問と回答 03 実験・実技・体験
基本情報	曜日時限	月曜4限	関連資格		履修可能学科等	E Pe Pc C W F N M		
授業の概要	オペレーションズ・リサーチとは、意思決定のための数学モデルです。その代表的なものとして、輸送問題、割当て問題、巡回セールスマン問題、在庫管理問題、階層化意思決定法（AHP）問題があります。この講義では、オペレーションズ・リサーチの簡単な説明からはじめ、これらの問題を実際に解けるようになることを目的としています。また、このオペレーションズ・リサーチによる意思決定の方法や問題解決の方法については、Excelのアドオンツールである”ソルバー”のアドオン機能を使って解くことができます。 この講義では、オペレーションズ・リサーチについての考え方を説明し、意思決定方法や問題解決についてExcelアドオンの機能であるソルバーを使って解決する方法を理解します。							
キーワード	オペレーションズ・リサーチ、線形計画法、動的計画法、Excelアドオン機能「ソルバー」							

学位授与方針との関係						
知識・技能	到達目標（知識・技能）	オペレーションズ・リサーチを理解する。実際にExcelのアドオントール、「ソルバー」を使用して解いてみる。	評価方法（知識・技能）	課題提出・レポート提出	評価割合（知識・技能）	40%
思考力・判断力・表現力	到達目標（思・判・表）	オペレーションズ・リサーチを理解する。実際にExcelを使ってORの問題を解くことができるようになる。	評価方法（思・判・表）	課題提出・レポート提出	評価割合（思・判・表）	60%
学修に主体的に取り組む態度	理解を確認したり深めるために、授業中に発問する。良い回答があった場合には評価する。				評価割合（学修態度）	0%
実践的ボランティア	授業内での他の受講者へのサポートや理解を深めるための質問、協力は評価として加点する。				評価割合（ボランティア）	0%
公正性	基本的に評価対象としないが、不当な行為があった場合には、厳重注意、減点の対象となる。				評価割合（公正性）	0%
その他	特になし				評価割合（その他）	0%

授業計画	第01回：講義の説明と内容 第02回：意思決定とは 第03回：線形計画法問題 第04回：動的計画法問題 第05回：データの収集と整理 第06回：データ分析と予測 第07回：在庫の考え方 第08回：生産の考え方 第09回：輸送の考え方 第10回：割り当ての計画 第11回：発送の方法 第12回：AHPの利用 第13回：採算性の検討 第14回：OR実施の手順と仕組み 第15回：全体のまとめとテストについて
使用テキスト	毎回資料を配布します。 【使用テキスト】 ・特になし

	【参考書】 ・高井英造 ほか『問題解決のためのオペレーションズ・リサーチ入門 Excelの活用と実務的例題』（日本評論社） ・大野勝久 ほか『Excelで学ぶオペレーションズリサーチ』（近代科学社）
予習・復習のポイントと参考文献・資料等	各回授業を受けた後に各回配布した資料の確認と授業内容の復習をしてください。 オペレーションズ・リサーチの理解を深めるため、最適化理論の事例として次の参考文献を挙げておきます。「Pythonではじめる数量最適化 ケーススタディでモデリングのスキルを身につけよう」オーム社 岩永二郎 石原響太 西村直樹 田中一樹 著
障がいのある履修者への対応	可能な限り対応するので、まずは学務部等に連絡してください。
授業時間外の連絡手段	オフィスアワーに研究室で対応します。 メールでも対応しますので、連絡先は学務部に確認して下さい。
留意事項	特になし

2024(令和6)年度

履 修 要 覧

茨城キリスト教大学

2. 授業科目、単位数および履修規程

[文学部]

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<現代英語学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C19K	歴史学	講義	30	2	1～4	12単位以上選択
	10140	1	LA10C42K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C16K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C13K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C33K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C26K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C15K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C45K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C56K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C57K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C58K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C47K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C30K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C38K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C29K	グローバル化を考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C54K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語コミュニケーション	10062	1	LA31C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	1
	10063	1	LA32C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
	10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
	10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
	10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	同一言語 6 単 位必修
		10071	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	
		10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	
		10079	1	LA23C02E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	留学	10101	2	LA10C59E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C60E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C61E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C62E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C63E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C64E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C65E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C66E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
		10031	1	LA10C08J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
データサイエンス		10033	1	LA10C09J	海外語学研修C	実習	60	2	1	2 単位必修
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C10J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C11J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C12K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
		10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	
		10045	1	LA12B11E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1	
健康スポーツ		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2	2 単位必修
		10137	2	LA11B12K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4	
		10166	1	LA12B13E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4	
		10152	1	LA10B01K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4	
汎用的スキル		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4	2 単位必修
		10155	1	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	
		10160	1	LA12B11J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4	
		10161	1	LA12B12J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4	
問題解決		10030	1	LA10C07K	運動と健康	講義	30	2	1～4	2 単位必修
		10157	2	LA10B02K	汎用的スキルA	講義	30	②	1～4	
		10168	1	LA10B03K	汎用的スキルB	講義	30	②	1～4	
		10169	1	LA10B04K	汎用的スキルC	講義	30	②	1～4	2 単位必修
		10170	1	LA10B05E	問題解決演習A	演習	30	②	1～4	
		10171	1	LA10B06E	問題解決演習B	演習	30	②	1～4	
		10172	1	LA10B07E	問題解決演習C	演習	30	②	1～4	2 単位必修

＜児童教育学科＞

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング (児童教育コース)	科目 ナンバリング (幼児保育コース)	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	児童教育コース6単位 必修 幼児保育コースはⅠ・ Ⅲの4単位必修
	10051	1	LA12A01K	LA12C01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C19K	LA10C14K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
	10140	1	LA10C42K	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C43J	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C35K	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C23K	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C13K	LA10C08K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C33K	LA10C28K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C26K	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C36K	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C15K	LA10C10K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C57K	LA10C52K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C18K	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C17K	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C45K	LA10C40K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C48K	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C58K	LA10C53K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C59K	LA10C54K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C60K	LA10C55K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C47K	LA10C42K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C46K	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C37K	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C30K	LA10C25K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C38K	LA10C33K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C32K	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C41K	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C29K	LA10C24K	グローバル化を考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C49K	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C51K	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C52K	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C54K	LA10C49K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11B01E	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	1単位必修
	10054	1	LA11B02E	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
	10059	1	LA12B01E	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12B02E	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	1単位必修
	10060	1	LA23B01E	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10056	1	LA23B02E	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	児童教育コース1単位 必修
	10061	1	LA24B01E	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
	10057	1	LA24B02E	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	児童教育コース1単位 必修
	10062	1	LA35C01E	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10065	1	LA11B03E	LA11B02E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	
	10066	1	LA12B03E	LA12B02E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
	10067	1	LA11B04E	LA11B03E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
	10068	1	LA12B04E	LA12B03E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
	10069	1	LA23B03E	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
	10070	1	LA24B03E	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
	10071	1	LA23C01E	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
	10072	1	LA24C01E	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
	10073	1	LA11B05E	LA11B04E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
	10074	1	LA12B05E	LA12B04E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
	10075	1	LA11B06E	LA11B05E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
	10076	1	LA12B06E	LA12B05E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
	10077	1	LA23B05E	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング (児童教育コース)	科目 ナンバリング (幼児保育コース)	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10078	1	LA24B05E	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	児童教育コース同一 言語6単位必修 幼児保育コース同 言語2単位必修 ※幼児保育コースは 英語選択必修2単 位・英語以外選択必 修2単位に加え、英 語または英語以外よ り2単位選択し、計 6単位が必修。なお、 英語以外は同一言語 で2単位または4単 位を選択すること。
		10079	1	LA23C02E	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	LA11B06E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B07E	LA12B06E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B08E	LA11B07E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B08E	LA12B07E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B07E	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B07E	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	LA11B08E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B09E	LA12B08E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B10E	LA11B09E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B10E	LA12B09E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B09E	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B09E	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C61E	LA10C56E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
	10098	1	LA10C62E	LA10C57E	その他の外国語B	演習	30	1	1		
	10101	2	LA10C63E	LA10C58E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中等教育 を受けた学生にのみ適 用	
	10102	2	LA10C64E	LA10C59E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4		
	10103	2	LA10C65E	LA10C60E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4		
	10104	2	LA10C66E	LA10C61E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4		
	10105	2	LA10C67E	LA10C62E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4		
	10106	2	LA10C68E	LA10C63E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4		
	10107	2	LA10C69E	LA10C64E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4		
10108	2	LA10C70E	LA10C65E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4			
	留学	10031	1	LA10C08J	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
10032		1	LA20C01J	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2		
10033		1	LA10C09J	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
10034		1	LA20C02J	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
10048		1	LA10C10J	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4		
10035		2	LA10C11J	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4		
10049		1	LA10C12K	LA10C07K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4		
データサイエンス	10044	1	LA11B13E	LA11B12E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	2単位必修	
	10045	1	LA12B13E	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1		
	10046	2	LA20B01E	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2		
	10137	2	LA11B14K	LA11B13K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4		
	10166	1	LA12B16E	LA12B15E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4		
	10152	1	LA10B01K	LA10B03K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4		
	10167	1	LA20B02E	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4		
健康スポーツ	10155	1	LA11A02J	LA11A02J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2単位必修	
	10160	1	LA12B14J	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4		
	10161	1	LA12B15J	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4		
	10030	1	LA10C07K	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4		
汎用的スキル	10157	2	LA10C56K	LA10C51K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4		
	10168	1	LA10C71K	LA10C66K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4		
	10169	1	LA10C72K	LA10C67K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4		
問題解決	10170	1	LA10C73K	LA10C68K	問題解決演習A	演習	30	2	1～4		
	10171	1	LA10C74K	LA10C69K	問題解決演習B	演習	30	2	1～4		
	10172	1	LA10C75K	LA10C70K	問題解決演習C	演習	30	2	1～4		

(2) 学科科目〔児童教育学科〕

児童教育コース：基幹科目22単位、専門基礎科目14単位、専門科目38単位、学科科目合計74単位以上

幼児保育コース：基幹科目22単位、専門基礎科目14単位、専門科目44単位、学科科目合計80単位以上

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否							
										E	C	W	F	N	M	L	
基幹科目	13000	2	PD10A01K	キリスト教教育論	講義	30	②	1～2	22単位必修	○	○	○	○	×	○	○	
	13009	3	PD10A02E	教育基礎演習A	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	13566	1	PD20A01E	教育基礎演習B	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×	
	13544	2	PD30A01E	児童教育演習A	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	13545	2	PD30A02E	児童教育演習B	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	13546	2	PD40A01E	児童教育演習C	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
	13547	2	PD40A02E	児童教育演習D	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
	13536	2	PD10A03E	音楽A	演習	30	①	1		○	○	○	○	×	○	○	
	13548	2	PD10A04E	音楽B	演習	30	①	1		○	○	○	○	×	○	○	
	13538	2	PD10A05E	美術A	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×	
	13539	2	PD10A06E	美術B	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×	
	13540	2	PD31A01E	労作体験Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×	
	13541	2	PD32A01E	労作体験Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×	
	13542	2	PD10B01J	児童体育A	実技	30	①	1		※Pe	○	○	○	○	×	○	○
	13198	2	PD20B01J	幼児体育A	実技	30	①	2		※Pc	×	×	×	×	×	×	×
	13543	2	PD20B02J	児童体育B	実技	30	①	2		※Pe	○	○	○	○	×	○	○
	13199	2	PD20B03J	幼児体育B	実技	30	①	2		※Pc	×	×	×	×	×	×	×
	13046	1	PD40C01S	卒業研究				4		4	×	×	×	×	×	×	×
専門基礎科目	13002	2	PD10A07K	教育原理	講義	30	②	1	14単位必修	○	○	○	○	×	○	○	
	13047	1	PD10A08K	教職論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	13015	3	PD20A02K	教育行政学	講義	30	②	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	13004	2	PD10B02K	教育心理学	講義	30	②	1		※Pe	×	×	×	×	×	×	×
	13103	3	PD10B03K	保育の心理学	講義	30	②	1		※Pc	×	×	×	×	×	×	×
	13562	1	PD10A09K	特別支援教育	講義	30	②	1～4		×	×	×	×	×	×	×	
	13091	1	PD10B04K	教育課程論	講義	30	②	1		※Pe	△	×	×	×	×	×	×
	13214	1	PD10B05K	幼児教育課程論	講義	30	②	1		※Pc	×	×	×	×	×	×	×
	13051	5	PD10B06K	教育方法論（ICT活用含む）	講義	30	②	1		※Pe	△	×	×	×	×	×	×
13170	3	PD20B04K	教育方法論	講義	30	②	2	※Pc	×	×	×	×	×	×	×		
専門科目 児童教育コース科目	13049	3	PD20C01K	道徳教育の理論と方法	講義	30	2	2	児童教育コース 38単位以上選択	△	×	×	×	×	×	×	
	13559	1	PD30C01K	総合的な学習の時間の教育法	講義	30	2	3		Pc可	△	×	×	×	×	×	×
	13050	3	PD20C02K	特別活動の理論と方法	講義	30	2	2		Pc可	△	×	×	×	×	×	×
	13552	2	PD30C02K	生徒・進路指導の理論と方法	講義	30	2	3		Pc可	△	×	×	×	×	×	×
	13553	2	PD30C03K	教育相談の基礎	講義	30	2	3		Pc可	△	×	×	×	×	×	×
	13027	3	PD40C01K	教育相談実践	講義	30	2	4		Pc可	×	×	×	×	×	×	×
	13058	3	PD20C03K	小学校国語科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13060	2	PD20C04K	小学校社会科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13062	3	PD20C05K	小学校算数科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13064	3	PD20C06K	小学校理科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13066	3	PD20C07K	小学校生活科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	13067	4	PD30C04K	小学校音楽科教育法	講義	30	2	3		△	×	×	×	×	×	×	×
	13068	3	PD20C08K	小学校図工科教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13072	3	PD20C09K	小学校家庭科教育法	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	13070	3	PD30C05K	小学校体育科教育法	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×	×
	13561	1	PD20C10K	外国語（英語）教育法	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13057	2	PD20C11K	小学校国語科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13560	2	PD20C12E	書写	演習	15	1	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13059	1	PD20C13K	小学校社会科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13061	2	PD20C14K	小学校算数科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13063	2	PD20C15K	小学校理科研究	講義	30	2	2		△	×	×	×	×	×	×	×
	13065	2	PD20C16K	小学校生活科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	13549	2	PD20C17E	音楽C	演習	30	1	2		○	○	○	○	×	○	○	○
	13537	2	PD20C18E	音楽D	演習	30	1	2		○	○	○	○	×	○	○	○
	13071	2	PD20C19E	小学校家庭科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	13069	1	PD20C20E	小学校体育科研究	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	13041	3	PD20C21E	小学校英語教育A	演習	30	2	2		Pc可	×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	C	W	F	N	M	L
専門科目	児童教育コース科目	13042	3	PD20C22E	小学校英語教育B	演習	30	2	2	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13052	2	PD20C23J	介護等体験（事前事後指導含む）	講・実	45	2	2～3		×	×	×	×	×	×
		13053	2	PD31C01J	初等教育実習Ⅰ（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	3		△	×	×	×	×	×
		13054	2	PD32C01J	初等教育実習Ⅱ	実習	60	2	3		×	×	×	×	×	×
		13089	2	PD40C02E	教職実践演習（小学校）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13017	2	PD10C01K	教育統計学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13028	1	PD11C01K	児童文化Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13029	1	PD12C01K	児童文化Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13030	1	PD11C02K	言語教育Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13031	1	PD12C02K	言語教育Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13033	2	PD10C02K	数学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13035	2	PD10C03K	自然科学教育	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13554	1	PD11C03K	地域社会研究Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13555	1	PD12C03K	地域社会研究Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	×	○
		13567	1	PD20C24E	野外活動	演習	30	1	2～3		○	○	○	○	×	○
		13012	2	PD20C25K	教育史	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○
		13019	2	PD20C26K	学習心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○
		13045	2	PD30C06K	児童教育特講A	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○
		13092	1	PD30C07K	児童教育特講B	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	×	○
	幼児保育コース科目	13114	2	PD10C04K	保育原理	講義	30	2	1	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13115	3	PD10C05K	保育者論	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13179	2	PD10C06E	子どもの理解と援助	演習	15	1	1		×	×	×	×	×	×
		13133	3	PD20C27K	子ども家庭支援論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13213	1	PD20C28K	子ども家庭支援の心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13208	2	PD20C29K	子どもの保健	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13140	2	PD30C08E	子どもの食と栄養	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13181	3	PD30C09E	子どもの健康と安全	演習	30	1	3		×	×	×	×	×	×
		13117	3	PD30C10K	子ども家庭福祉	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13182	2	PD10C07K	保育の計画と評価	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13221	1	PD20C30E	保育内容総論	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13151	2	PD20C31E	保育内容教育法・健康	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13152	2	PD10C08E	保育内容教育法・人間関係	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13153	2	PD20C32E	保育内容教育法・環境	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13154	2	PD10C09E	保育内容教育法・言葉	演習	30	2	1		×	×	×	×	×	×
		13156	3	PD30C11E	保育内容教育法・造形表現	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13155	3	PD30C12E	保育内容教育法・音楽表現	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13223	1	PD30C13E	子どもと健康	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13224	1	PD30C14E	子どもと人間関係	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13225	1	PD30C15E	子どもと環境	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13226	1	PD20C33K	子どもと言葉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13227	1	PD20C34K	子どもと造形表現	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13228	1	PD30C16K	子どもと音楽表現	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13204	3	PD20C35E	保育の音楽A	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		13205	3	PD20C36E	保育の音楽B	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		13118	1	PD20C37K	社会福祉	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13116	3	PD21C01K	社会的養護Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13132	3	PD22C01E	社会的養護Ⅱ	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13216	1	PD20C38E	幼児理解	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13217	1	PD20C39E	教育相談	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13218	1	PD21C02K	乳児保育Ⅰ	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13219	1	PD22C02E	乳児保育Ⅱ	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13121	1	PD20C40K	子ども文化論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13120	1	PD20C41K	キリスト教保育	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13125	1	PD20C42K	発達障害学	講義	30	2	2～4	Pe可	○	○	○	○	○	○
		13129	1	PD20C43K	言語発達心理学	講義	30	2	2～4		○	×	×	×	×	×
		13142	2	PD20C44E	身体表現	演習	30	2	2～4	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13131	1	PD30C17E	障害児保育	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13105	2	PD20C45K	子育て支援論	講義	30	2	2	Pe可	×	×	○	×	×	○
		13215	1	PD20C46E	子育て支援演習	演習	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		13135	1	PD30C18K	地域発達臨床論	講義	30	2	3～4	Pe可	○	○	○	○	○	○
		13134	3	PD30C19E	地域子育て支援実践演習	演習	30	2	3～4		×	×	○	×	×	○
		13189	2	PD30C20E	地域発達支援実践演習	演習	30	2	3～4	Pe可	×	×	○	×	×	×
		13184	2	PD31C02E	保育実習指導Ⅰ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	C	W	F	N	M	L
専門科目	幼児保育コース科目	13160	2	PD32C02J	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	90	2	3	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13161	3	PD32C03J	保育実習Ⅰ（施設）	実習	90	2	3		×	×	×	×	×	×
		13167	2	PD41C01E	保育実習指導Ⅱ	演習	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		13162	3	PD42C01J	保育実習Ⅱ（保育所）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×
		13163	3	PD42C02J	保育実習Ⅲ（施設）	実習	90	2	4		×	×	×	×	×	×
		13185	1	PD21C03J	初等教育実習Ⅲ（事前事後指導1単位を含む）	実習	45	2	2		×	×	×	×	×	×
		13186	2	PD22C03J	初等教育実習Ⅳ	実習	90	3	2		×	×	×	×	×	×
		13177	1	PD40C03E	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13210	1	PD20C47E	幼児保育特殊演習A	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13211	1	PD20C48E	幼児保育特殊演習B	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×
		13212	1	PD20C49E	幼児保育特殊演習C	演習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○
		13511	2	PD30C21K	特別支援教育総論	講義	30	2	3	Pe可	×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅰ		13512	2	PD20C50K	特別支援教育原論	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		13513	2	PD30C22K	発達障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13514	2	PD30C23K	知的障害と教育Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13515	2	PD30C24K	知的障害と教育Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13557	2	PD30C25K	知的障害の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13518	2	PD30C26K	肢体不自由と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13519	2	PD30C27K	肢体不自由の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13520	2	PD30C28K	病弱と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13521	2	PD30C29K	病弱の心理・生理・病理	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13522	2	PD30C30K	重度重複障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13558	3	PD30C31K	視覚・聴覚障害と教育	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13524	1	PD30C32K	言語の発達と障害	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		13526	2	PD40C04K	発達障害心理検査法	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13527	2	PD40C05K	障害と児童福祉	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13528	2	PD40C06K	世界の特別支援教育	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		13529	2	PD40C07E	特別支援教育実践演習	演習	60	4	4		×	×	×	×	×	×
		13530	1	PD40C08J	特別支援教育実習（事前事後指導1単位を含む）	実習	75	3	4		×	×	×	×	×	×
資格科目Ⅱ		13531	1	PD30C33K	学校経営と学校図書館	講義	30	2	3～4	Pe可	×	×	×	×	×	×
		13532	1	PD30C34K	学校図書館メディアの構成	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13533	1	PD30C35K	学習指導と学校図書館	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13534	1	PD30C36K	読書と豊かな人間性	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×
		13535	1	PD30C37K	情報メディアの活用	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×

基幹科目および専門基礎科目の選択必修については、備考欄に「※Pe」とあるものは児童教育コース必修、「※Pc」とあるものは幼児保育コース必修である。

専門科目の備考欄に「Pe可」または「Pc可」とあるものは、それぞれ児童教育コース所属学生および幼児保育コース所属学生が履修できる科目を示している。

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。△が付いている科目については、学務部に問い合わせ、事前の指導を受け必ず確認をすること。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

<文化交流学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神		10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
		10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
		10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	文化交流系教養	10117	2	LA10C14K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
		10140	1	LA10C37K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
		10141	1	LA10C38J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
		10133	1	LA10C30K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
		10121	1	LA10C18K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	教育系教養	10114	2	LA10C11K	教育学	講義	30	2	1～4	
		10111	2	LA10C08K	倫理学	講義	30	2	1～4	
		10131	2	LA10C28K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
		10036	1	LA10C21K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
		10134	1	LA10C31K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	心理福祉系教養	10113	2	LA10C10K	心理学	講義	30	2	1～4	
		10162	1	LA10C52K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
		10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
		10115	1	LA10C12K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	食物健康系教養	10144	2	LA10C40K	生命科学	講義	30	2	1～4	
		10147	1	LA10C43K	食といのち	講義	30	2	1～4	
		10163	1	LA10C53K	食と文化	講義	30	2	1～4	
		10164	1	LA10C54K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	看護系教養	10165	1	LA10C55K	看護学	講義	30	2	1～4	
		10146	2	LA10C42K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
		10145	1	LA10C41K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
		10135	1	LA10C32K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	経営系教養	10128	2	LA10C25K	経済学	講義	30	2	1～4	
		10136	2	LA10C33K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
		10130	1	LA10C27K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
		10139	1	LA10C36K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
		10127	2	LA10C24K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	自然環境系教養	10148	1	LA10C44K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
		10150	1	LA10C46K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
		10151	1	LA10C47K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
		10153	2	LA10C49K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	英語	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	8単位必修
		10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
		10060	1	LA23A01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
		10061	1	LA24A01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
		10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C02E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
		10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
		10056	1	LA23A02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
		10057	1	LA24A02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
	英語以外	10065	1	LA11B01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	
		10066	1	LA12B01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
		10067	1	LA11B02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
		10068	1	LA12B02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
		10069	1	LA23B01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
		10070	1	LA24B01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
		10071	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B03E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B03E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B04E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B04E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B03E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	

学 科 目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10078	1	LA24B03E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	同一言語 6 単 位必修
		10079	1	LA23C02E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C02E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B05E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B05E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B06E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B06E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C03E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C03E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B07E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B07E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B08E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B08E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B07E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B07E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C04E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C04E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C56E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C57E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C58E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	
		10102	2	LA10C59E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C60E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C61E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C62E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C63E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C64E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C65E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C03J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C04J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C05J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C06J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C07K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B11E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	②	1	2 単位必修
		10045	1	LA12B12E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	②	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	②	2	
		10137	2	LA11B12K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4	
		10166	1	LA12B15E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4	
		10152	1	LA10B01K	はじめての統計学	講義	30	②	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	②	2～4	
健康スポーツ		10155	1	LA11A04J	体育実技Ⅰ	実技	30	①	1～4	2 単位必修
		10160	1	LA12B13J	体育実技ⅡA	実技	30	①	1～4	
		10161	1	LA12B14J	体育実技ⅡB	実技	30	①	1～4	
		10030	1	LA10C02K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
汎用的スキル科目		10157	2	LA10C51K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C66K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
		10169	1	LA10C67K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
問題解決科目		10170	1	LA10C68E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
		10171	1	LA10C69E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
		10172	1	LA10C70E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔生活科学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

＜心理福祉学科＞

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	16単位以上選択
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C55K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C56K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C57K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C45K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
言語コミュニケーション	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	1単位必修
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	1	1	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	1	1	
	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	1単位必修
	10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	1単位必修
	10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
	英語以外	10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C63E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C64E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C65E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C66E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C67E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C68E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C69E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C70E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B03E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
		10045	1	LA12B03E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11B05K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12B04E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B05K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
健康スポーツ		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
		10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	1単位必修

(2) 学科科目〔心理福祉学科〕

基幹科目20単位、専門基礎科目10単位以上、心理カウンセリング系科目 4 単位以上、福祉系科目 4 単位以上、心理福祉教育系科目 4 単位以上、学科科目合計92単位以上

2023年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否							
										E	P	C	F	N	M	L	
基幹科目	21000	2	WP11A03E	基礎演習Ⅰ	演習	30	②	1	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×	
	21177	1	WP12A03E	基礎演習Ⅱ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21099	1	WP11A01K	心理学概論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21100	1	WP12A01K	心理学概論Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21101	2	WP11A02K	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21102	2	WP12A02K	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21103	1	WP31A02E	心理福祉演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	21104	1	WP32A01E	心理福祉演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	21105	1	WP43A01E	心理福祉演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
	21106	1	WP44A01E	心理福祉演習Ⅳ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
専門基礎科目	21107	1	WP10C27K	人間観と倫理A	講義	30	2	1～2	10単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○	
	21108	1	WP10C28K	人間観と倫理B	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○	
	20008	1	WP10C14K	キリスト教福祉	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	×	×	
	21092	1	WP20C28K	愛と死の人間学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21109	1	WP20C29K	人体の構造と機能及び疾病	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21110	1	WP20C30K	神経・生理心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	
	21097	2	WP20C31E	発展演習A	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	
	21098	2	WP20C32E	発展演習B	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	
	21062	3	WP20C33K	心理福祉特講A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21063	3	WP20C34K	心理福祉特講B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21111	1	WP20C35K	心理福祉特講C	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21112	1	WP20C36K	心理福祉特講D	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21113	2	WP10C38K	ソーシャルワークの基盤と専門職	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21114	2	WP10C39K	ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×	
	21115	1	WP20C37K	社会福祉発達史A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	×	
	21116	1	WP20C38K	社会福祉発達史B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	×	×	
	21046	2	WP10C08K	臨床心理学概論	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21117	1	WP11C03K	社会・集団・家族心理学Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21118	1	WP12C02K	社会・集団・家族心理学Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21119	2	WP21C15E	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21120	2	WP22C17E	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21067	3	WP21C16J	ソーシャルワーク実習Ⅰ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21121	1	WP11C05K	心理福祉海外研修Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	
	21122	1	WP22C08J	心理福祉海外研修Ⅱ	実習	60	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	
	21069	1	WP40C02S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×	×	×
心理カウンセリング系科目	21123	2	WP20C51K	福祉心理学	講義	30	2	2	4単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×	
	21124	2	WP20C52K	健康・医療心理学	講義	30	2	2		×	×	×	×	×	×	×	×
	21125	1	WP10C31K	発達心理学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×	×
	21042	2	WP20C16K	感情・人格心理学	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×	×
	21043	3	WP20C53K	心理学的支援法	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21048	1	WP20C18K	深層心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	×	
	21049	2	WP20C19K	障害者・障害児心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21050	1	WP20C20K	老年心理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21083	3	WP20C21K	心理的アセスメント	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21096	1	WP20C22J	心理検査法実習	実習	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21085	1	WP21C04K	心理学研究法Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21086	1	WP22C05K	心理学研究法Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21126	2	WP21C18J	心理学実験Ⅰ	実験	60	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21127	2	WP22C20J	心理学実験Ⅱ	実験	30	1	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21087	2	WP20C24E	心理演習	演習	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21058	2	WP20C25K	知覚・認知心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21051	1	WP30C02K	トランスパーソナル心理学	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○	
	21088	2	WP30C05K	産業・組織心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21128	1	WP30C09K	司法・犯罪心理学	講義	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×	×
	21129	1	WP20C39K	精神疾患とその治療	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	F	N	M	L
心理カウンセリング系科目	21053	1	WP30C04K	癒しのセラピー	講義	30	2	3～4		○	○	○	○	○	○	○
	21167	1	WP10C33K	公認心理師の職責	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21130	2	WP10C39K	心理学統計法	講義	30	2	1～4		×	×	×	×	×	×	×
	21131	1	WP20C41K	学習・言語心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21132	1	WP20C42K	教育・学校心理学	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21133	1	WP20C43K	関係行政論	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
福祉系科目	21134	1	WP30C10J	心理実習	実習	90	3	3～4	4 単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	21135	2	WP21C07K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21136	2	WP22C09K	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21137	2	WP21C16K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21138	2	WP22C18K	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21139	2	WP11C06K	児童・家庭福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21140	2	WP12C04K	児童・家庭福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21141	2	WP11C07K	障害者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21142	2	WP12C05K	障害者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21143	2	WP11C08K	高齢者福祉Ⅰ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21144	2	WP12C06K	高齢者福祉Ⅱ	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	21037	1	WP20C13K	介護概論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21078	1	WP20C14E	介護技術	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
	21145	2	WP21C08K	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21146	2	WP22C10K	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21147	2	WP21C09K	社会保障Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21148	2	WP22C11K	社会保障Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21029	2	WP20C09K	貧困に対する支援	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21149	2	WP20C44K	福祉サービスの組織と経営A	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21150	2	WP20C45K	福祉サービスの組織と経営B	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21076	2	WP20C07K	社会福祉調査の基礎	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21152	2	WP20C47K	権利擁護を支える法制度	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21153	2	WP21C10K	保健医療と福祉Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21154	2	WP22C12K	保健医療と福祉Ⅱ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21033	1	WP20C10K	ジェンダー福祉論	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21155	1	WP21C11K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅰ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21156	1	WP22C13K	ファミリーソーシャルワーク論Ⅱ	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	21157	2	WP20C48K	刑事司法と福祉A	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	21158	2	WP20C49K	刑事司法と福祉B	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	×	○	○
	21023	3	WP10C40E	ソーシャルワーク演習	演習	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21024	3	WP21C17E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21025	4	WP22C19E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	30	2	2～3		×	×	×	×	×	×	×
	21027	3	WP33C01E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21077	3	WP34C02E	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21161	1	WP41C01K	社会福祉士試験対策講座Ⅰ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21162	1	WP42C03K	社会福祉士試験対策講座Ⅱ	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	21163	2	WP33C02E	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21164	2	WP34C03E	ソーシャルワーク実習指導Ⅳ	演習	30	2	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21081	3	WP32C02J	ソーシャルワーク実習Ⅱ	実習	180	6	3～4		×	×	×	×	×	×	×
	21178	1	WP20C54K	医学概論	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
心理福祉教育系科目	20014	1	WP10C17K	法学	講義	30	2	1～2	4 単位以上選択	○	○	×	○	○	×	○
	20013	1	WP10C16K	社会学	講義	30	2	1～2		×	×	×	○	○	×	○
	21061	1	WP20C26K	社会病理学	講義	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
	20017	1	WP10C18K	高齢者生活論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20006	1	WP10C21K	人権と教育	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20015	1	WP10C23K	生活と政治	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20012	1	WP10C22K	生活と国際経済	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20018	1	WP10C24K	女性学	講義	30	2	1～2		○	○	×	×	×	×	×
	20004	1	WP10C20K	人間と哲学	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	20003	2	WP10C19K	生命と倫理	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21165	1	WP11C09K	福祉教育論Ⅰ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21166	1	WP12C07K	福祉教育論Ⅱ	講義	30	2	1～2		×	×	×	×	×	×	×
	21168	2	WP20C55K	日本史A	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21169	2	WP20C56K	日本史B	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21170	2	WP20C57K	東洋史	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21171	2	WP20C58K	西洋史	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×
	21172	1	WP21C13K	人文地理学Ⅰ	講義	30	2	2～4		×	×	×	×	×	×	×

<食物健康科学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神		10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4 単位必修
		10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
		10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	文化交流系教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	10単位以上選択
		10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
		10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
		10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
		10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	教育系教養	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
		10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
		10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
		10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
		10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	心理福祉系教養	10113	2	LA10C13K	心理学	講義	30	2	1～4	
		10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
		10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
		10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	食物健康系教養	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
		10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	看護系教養	10165	1	LA10C56K	看護学	講義	30	2	1～4	
		10146	2	LA10C45K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
		10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
		10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	経営系教養	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
		10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
		10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
		10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
		10127	2	LA10C27K	グローバルゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	自然環境系教養	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
		10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
		10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
		10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	英語	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	1 単位必修
		10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
		10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	1 単位必修
		10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
		10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	1 単位必修
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
		10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	1 単位必修
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
		10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
		10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	英語以外	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C62E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C63E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C64E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C65E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C66E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C67E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C68E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C69E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11A02E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修
		10045	1	LA12A02E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA10C57E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11B05K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12B06E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B05K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
健康スポーツ		10155	1	LA11B04J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
汎用的スキル		10157	2	LA10C54K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C57K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
		10169	1	LA10C58K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	
問題解決		10170	1	LA10C59E	問題解決演習A	演習	30	2	1～4	
		10171	1	LA10C60E	問題解決演習B	演習	30	2	1～4	
		10172	1	LA10C61E	問題解決演習C	演習	30	2	1～4	

(2) 学科科目〔食物健康科学科〕

基幹科目16単位、学科科目89単位以上

2021年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	N	M	L
基幹科目	22203	1	FS10A08E	基礎演習	演習	30	②	1	16単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22100	1	FS10A01K	有機化学	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22101	2	FS11A01K	生化学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22102	1	FS11A02K	食品学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22103	2	FS11A03K	基礎栄養学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22104	1	FS21A01K	公衆衛生学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22195	1	FS31A01E	総合演習Ⅰ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22196	1	FS32A01E	総合演習Ⅱ	演習	30	①	3		×	×	×	×	×	×	×
専門基礎分野	22169	2	FS40A01E	卒業演習	演習	30	②	4	35単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22106	1	FS32A02K	公衆衛生学Ⅱ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22197	1	FS40A02J	公衆衛生学実験	実験	45	①	4		×	×	×	×	×	×	×
	22107	2	FS30A01K	社会福祉概論	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22108	2	FS11A04K	解剖生理学Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22109	2	FS12A01K	解剖生理学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22110	2	FS10A02J	解剖生理学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22180	1	FS10A03K	運動生理学	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22181	2	FS40A03J	運動栄養生理学実験	実験	45	①	4		×	×	×	×	×	×	×
	22111	2	FS22A01K	生化学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22198	1	FS30A02J	生化学実験	実験	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22182	1	FS31A02K	医学一般Ⅰ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22183	1	FS32A03K	医学一般Ⅱ	講義	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22115	3	FS22A02K	食品学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22184	1	FS10A04J	食品学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22117	2	FS10A05J	分析化学実験	実験	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22118	1	FS10C01K	食品化学	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×	×
	22119	2	FS30A03K	食品加工学	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22120	2	FS30A04J	食品加工学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22121	1	FS10C02K	食文化論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22123	1	FS20A01K	食品衛生学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22124	1	FS20A02J	食品衛生学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22199	1	FS11A05J	調理学実習Ⅰ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22200	1	FS12A02J	調理学実習Ⅱ	実習	45	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22126	2	FS20A03K	調理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22127	2	FS20A04J	調理学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
専門分野	22185	1	FS11A06K	管理栄養士入門Ⅰ	講義	30	②	1	47単位必修	×	×	×	×	×	×	×
	22173	1	FS12A03K	管理栄養士入門Ⅱ	講義	15	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22186	1	FS10A06K	食事摂取基準論	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22122	4	FS32A04K	基礎栄養学Ⅱ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22128	2	FS21A02K	ライフステージ栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22129	1	FS22A03K	ライフステージ栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22130	1	FS40A04K	疾病予防のための栄養学	講義	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22201	1	FS20A05J	栄養学実験	実験	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22174	2	FS31A03J	応用栄養学実習Ⅰ	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22188	1	FS32A05J	応用栄養学実習Ⅱ	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22133	3	FS21A03K	栄養教育論Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22136	2	FS22A04K	栄養教育論Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22135	2	FS33A01K	栄養教育論Ⅲ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22134	2	FS30A05J	栄養教育論実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22137	2	FS21A04K	臨床栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22140	2	FS22A05K	臨床栄養学Ⅱ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22139	2	FS33A02K	臨床栄養学Ⅲ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22141	2	FS34A01K	臨床栄養学Ⅳ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×
	22189	1	FS20A06J	臨床栄養学実習	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22163	1	FS30A06J	応用臨床栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22142	2	FS21A05K	公衆栄養学Ⅰ	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×
	22144	2	FS32A06K	公衆栄養学Ⅱ	講義	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	N	M	L
専門分野	22190	1	FS30A07J	公衆栄養学実習	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22176	2	FS11A07K	給食経営管理論Ⅰ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×
	22164	3	FS22A06K	給食経営管理論Ⅱ	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22177	1	FS10A07E	給食実務演習	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×	×
	22191	1	FS21A06J	給食経営管理実習Ⅰ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22192	1	FS22A07J	給食経営管理実習Ⅱ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×	×
	22150	3	FS31A02J	臨地実習Ⅰ（給食経営管理）	実習	45	①	3		×	×	×	×	×	×	×
	22152	3	FS32A07J	臨地実習Ⅱ（臨床栄養）	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×	×
人間生活領域	22151	3	FS43A01J	臨地実習Ⅲ（公衆栄養）	実習	45	①	4	2単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	22178	1	FS10C03K	人間と社会環境	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22154	1	FS10C04K	保育学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22155	1	FS10C05K	児童臨床学	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22156	1	FS10C06K	衣服環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22157	1	FS10C07K	居住環境論	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22158	1	FS10C08K	家庭電気・機械及び情報処理	講義	30	2	1～4		○	○	○	○	○	○	○
	22179	1	FS20C01J	栄養統計処理	実習	30	2	2～4		○	○	○	○	○	○	○
応用専門分野	22170	1	FS40C01S	卒業研究			2	4	国家試験対策演習Ⅰを含めて 5単位以上選択	×	×	×	×	×	×	×
	22165	2	FS31C01K	学外実習事前事後指導Ⅰ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22193	1	FS32C01K	学外実習事前事後指導Ⅱ	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×	×
	22194	1	FS43C01K	学外実習事前事後指導Ⅲ	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×	×
	22171	2	FS41A01E	国家試験対策演習Ⅰ	演習	60	②	4		×	×	×	×	×	×	×
	22202	1	FS42A01E	国家試験対策演習Ⅱ	演習	60	2	4		×	×	×	×	×	×	×
	22167	1	FS31C02K	学校栄養指導論Ⅰ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	22168	1	FS32C02K	学校栄養指導論Ⅱ	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×	×
	20010	1	FS10C09K	生活経営論	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○
	20011	1	FS10C10K	生活経済学	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	×	○

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔看護学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

<看護学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C17K	歴史学	講義	30	2	1～4	14単位以上選択
	10140	1	LA10C40K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C41J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C33K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C21K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C14K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C11K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C31K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C24K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C34K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C13K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C55K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C16K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C15K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C43K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C46K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C56K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C57K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C44K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C35K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C28K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C36K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C30K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C39K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C47K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C49K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C50K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C52K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11A02E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	4単位必修
	10059	1	LA12A02E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23C01E	総合英語Ⅲ	演習	30	1	2	
	10061	1	LA24C01E	総合英語Ⅳ	演習	30	1	2	
	10062	1	LA35C01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	
	10063	1	LA36C01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
	10054	1	LA11A03E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	
	10055	1	LA12A03E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	
	10056	1	LA23C02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
	10057	1	LA24C02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	

学 科 目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語以外	10065	1	LA11C01E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12C01E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11C02E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12C02E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C04E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C04E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11C03E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12C03E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11C04E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12C04E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C05E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C05E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C06E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C06E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11C05E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12C05E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11C06E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12C06E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C07E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C07E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C08E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C08E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11C07E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12C07E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11C08E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12C08E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C09E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C09E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C10E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C10E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C02E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C03E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C63E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	
		10102	2	LA10C64E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C65E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C66E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C67E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C68E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C69E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C70E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C06J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C07J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C08J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C09J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C10K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス		10044	1	LA11B01E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	2単位必修
		10045	1	LA12B01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10137	2	LA11C11K	データサイエンスⅠ	講義	30	2	1～4	
		10166	1	LA12C11E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10C51K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
		10167	1	LA20C03E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	
健康スポーツ		10155	1	LA11B02J	体育実技Ⅰ	実技	30	1	1～4	1単位必修
		10160	1	LA12C11J	体育実技ⅡA	実技	30	1	1～4	
		10161	1	LA12C12J	体育実技ⅡB	実技	30	1	1～4	
		10030	1	LA10B04K	運動と健康	講義	30	2	1～4	
汎用的スキル		10157	2	LA10C54K	汎用的スキルA	講義	30	2	1～4	
		10168	1	LA10C58K	汎用的スキルB	講義	30	2	1～4	
		10169	1	LA10C59K	汎用的スキルC	講義	30	2	1～4	

(2) 学科科目〔看護学科〕

専門基礎科目26単位、専門科目76単位以上

2022年度～

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	M	L
専門基礎科目	成り立ちと回復の促進・疾病の	31101	3	NU10A01K	人体構造機能学A	講義	30	②	1	26単位必修	×	×	×	×	×	×
		31186	2	NU10A02K	人体構造機能学B	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×
		31187	2	NU20A01E	人体構造機能学演習	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31103	1	NU10A03K	生化学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31104	3	NU10A04K	栄養・代謝学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31213	1	NU10C03E	食物健康演習	演習	30	1	1		×	×	×	×	×	×
		31106	3	NU10A05K	感染と防御	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31107	1	NU20A02K	病理病態学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31108	1	NU20A03K	薬理学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31109	1	NU20A04K	疾病治療論	講義	45	③	2		×	×	×	×	×	×
		31214	1	NU20A23K	疾病治療論（小児）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31215	1	NU20A24K	疾病治療論（母性）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31216	1	NU20A25K	疾病治療論（精神）	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
	倫理・健康支援と社会	31217	1	NU10A14K	医療倫理	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31111	3	NU10A07K	社会保障制度論	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×
		31112	3	NU20A26K	保健医療福祉行政論	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
	疫学と統計	31212	1	NU20C02K	カウンセリング技術	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		31178	1	NU10A09K	公衆衛生学	講義	15	①	1		×	×	×	×	×	×
		31115	2	NU20A06K	疫学	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31179	1	NU30C01K	保健統計	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
専門科目	看護学の基本	31218	1	NU10A15K	看護学概論	講義	30	②	1	22単位必修	×	×	×	×	×	×
		31219	1	NU20A27K	看護倫理	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31118	2	NU10A16E	看護学へのアプローチ	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31191	2	NU10A17E	看護とコミュニケーション	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31119	3	NU10A18E	ヘルスアセスメントA	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31120	3	NU20A28E	ヘルスアセスメントB	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31123	3	NU10A11E	援助技術論A	演習	60	②	1		×	×	×	×	×	×
		31124	3	NU20A08E	援助技術論B	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×
		31125	3	NU20A29K	看護関係法規	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31220	1	NU20A30K	精神保健	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31192	2	NU20A10E	健康教育論	演習	60	②	2		×	×	×	×	×	×
		31221	1	NU10A19E	ライフステージと看護	演習	30	①	1		×	×	×	×	×	×
		31222	1	NU21A01E	看護とクリティカルシンキング	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
	看護展開の基礎	31223	1	NU11A02J	地域・在宅看護学実習Ⅰ	実習	45	①	1	14単位必修	×	×	×	×	×	×
		31130	2	NU20A11J	基礎看護学実習	実習	135	③	2		×	×	×	×	×	×
		31122	3	NU20A31E	看護実践統合演習Ⅰ	演習	30	①	2		×	×	×	×	×	×
		31224	1	NU20A32K	成熟期看護学概論	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31225	1	NU20A33K	成熟期療養支援看護学A	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31226	1	NU20A34K	成熟期生活支援看護学A	講義	30	②	2		×	×	×	×	×	×
		31193	2	NU20A14K	小児看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31194	2	NU20A15K	母性看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31195	2	NU20A16K	精神看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31227	1	NU20A35K	公衆衛生看護学概論	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31228	1	NU20A36K	家族看護論	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31196	2	NU20A18K	在宅看護学A	講義	15	①	2		×	×	×	×	×	×
		31229	1	NU22A01J	地域・在宅看護学実習Ⅱ	実習	45	①	2		×	×	×	×	×	×
	看護展開の応用	31197	2	NU32A01E	看護実践統合演習Ⅱ	演習	30	①	3	27単位必修	×	×	×	×	×	×
		31230	1	NU30A13E	成熟期療養支援看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31144	3	NU30A02E	成熟期生活支援看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31199	2	NU30A03E	小児看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31146	3	NU30A04E	母性看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31200	2	NU30A05E	精神看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31201	2	NU30A06E	在宅看護学B	演習	60	②	3		×	×	×	×	×	×
		31202	2	NU20C03K	公衆衛生看護活動展開論A	講義	15	1	2		×	×	×	×	×	×
		31180	3	NU30C02E	公衆衛生看護活動展開論B	演習	60	2	3		×	×	×	×	×	×
		31231	1	NU30C04K	公衆衛生看護活動展開論C	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	M	L
専門科目	看護展開の応用	31232	1	NU40C11K	公衆衛生看護管理論	講義	30	2	4		×	×	×	×	×	×
		31204	1	NU20C04E	学校保健	演習	30	1	2		×	×	×	×	×	×
		31205	2	NU30C05K	学校健康相談	講義	15	1	3		×	×	×	×	×	×
		31182	1	NU40C03K	産業保健	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31155	2	NU30A07J	成熟期療養支援看護学実習	実習	180	④	3		×	×	×	×	×	×
		31233	1	NU30A14J	成熟期生活支援看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31157	1	NU30A09J	小児看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31158	1	NU30A10J	母性看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31159	1	NU30A11J	精神看護学実習	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
		31160	3	NU33A01J	地域・在宅看護学実習Ⅲ	実習	90	②	3		×	×	×	×	×	×
	看護学の発展	31183	3	NU20C05J	公衆衛生看護学実習A	実習	45	1	2	11単位必修を含めて13単位選択	×	×	×	×	×	×
		31206	2	NU40C04J	公衆衛生看護学実習B	実習	180	4	4		×	×	×	×	×	×
		31154	2	NU40A05K	エンドオブライフケア論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31210	2	NU40A04E	災害看護論	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31164	2	NU40A02K	看護マネジメント	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31167	1	NU40A03K	研究方法論	講義	15	①	4		×	×	×	×	×	×
		31208	1	NU41A01E	研究方法論演習Ⅰ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31209	1	NU42A01E	研究方法論演習Ⅱ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31163	1	NU40C12K	国際看護論	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31165	1	NU40C05K	看護教育学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31170	1	NU40C07K	リハビリテーション看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31171	1	NU40C08K	がん看護	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31113	2	NU40C13K	保健医療看護経済学	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31211	1	NU40C10K	生と死の倫理	講義	15	1	4		×	×	×	×	×	×
		31207	2	NU10C02E	異文化看護演習	演習	60	2	1~4		×	×	×	×	×	×
		31176	3	NU43A01E	看護実践統合演習Ⅲ	演習	30	①	4		×	×	×	×	×	×
		31234	1	NU40A07J	総合実習	実習	180	④	4		×	×	×	×	×	×

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔経営学部〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が47単位未満で、総単位数は56単位以内とする。

ただし、前学年度のGPAが3.0以上の学生は、卒業要件科目については50単位未満、総単位数は60単位以内とする。

<経営学科>

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	4単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33C01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	2	3	
現代教養	10117	2	LA10C12K	歴史学	講義	30	2	1～4	18単位以上選択
	10140	1	LA10C35K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C36J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C28K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C16K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C09K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C06K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C26K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C19K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C29K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C08K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C50K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C11K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C10K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C38K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C41K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C51K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C52K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C53K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C40K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C39K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C30K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C23K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C31K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C34K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C22K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
自然環境系教養	10148	1	LA10C42K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C44K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C45K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C47K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	□	1	
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	□	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	□	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	□	2	
言語 コミュニケーション	英語								

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語	10062	1	LA35B01E	総合英語Ⅴ	演習	30	1	3	8単位必修 (うち英語 4単位以上) 英語以外の外国 を含める場合 は同一言語 2単位または 同一言語4単 位とする
		10063	1	LA36B01E	総合英語Ⅵ	演習	30	1	3	
		10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	1	1	
		10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	1	1	
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	1	2	
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	1	2	
	英語以外	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	1	1	
		10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	1	1	
		10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	1	1	
		10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	1	1	
		10069	1	LA23C01E	ドイツ語ⅢA	演習	30	1	2	
		10070	1	LA24C01E	ドイツ語ⅣA	演習	30	1	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	1	1	
		10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	1	1	
		10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	1	1	
		10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	1	1	
		10077	1	LA23C03E	フランス語ⅢA	演習	30	1	2	
		10078	1	LA24C03E	フランス語ⅣA	演習	30	1	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	1	1	
		10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	1	1	
		10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	1	1	
		10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	1	1	
		10085	1	LA23C05E	中国語ⅢA	演習	30	1	2	
		10086	1	LA24C05E	中国語ⅣA	演習	30	1	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	1	1	
		10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	1	1	
		10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	1	1	
		10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	1	1	
		10093	1	LA23C07E	コリアンⅢA	演習	30	1	2	
		10094	1	LA24C07E	コリアンⅣA	演習	30	1	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C54E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C55E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用	10101	2	LA10C56E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	
		10102	2	LA10C57E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C58E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C59E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
		10105	2	LA10C60E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4	
		10106	2	LA10C61E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4	
		10107	2	LA10C62E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4	
		10108	2	LA10C63E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4	
	留学	10031	1	LA10C01J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
		10033	1	LA10C02J	海外語学研修C	実習	60	2	1	
		10034	1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2	
		10048	1	LA10C03J	海外文化研修	実習	60	2	1～4	
		10035	2	LA10C04J	異文化体験	実習	60	2	1～4	
		10049	1	LA10C05K	留学生のための日本語基礎	講義	30	2	1～4	
データサイエンス	4単位必修	10044	1	LA11B13E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	
		10045	1	LA12B13E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1	
		10046	2	LA20B01E	コンピュータ実習	演習	30	2	2	
		10166	1	LA12B16E	データサイエンスⅡ	演習	30	2	1～4	
		10152	1	LA10B10K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4	
		10167	1	LA20B02E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	

(2) 学科科目〔経営学科〕

基幹科目20単位、専門科目60単位のうち、専門基礎科目 6 単位以上、専門科目52単位以上、学科科目合計80単位以上

2023年度～

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否							
										E	P	C	W	F	N	L	
基幹科目	41001	1	MA11A01K	経営学入門Ⅰ	講義	30	②	1	20単位必修	×	×	×	×	×	×	×	
	41002	1	MA12A01K	経営学入門Ⅱ	講義	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	41126	1	MA10A01E	リーダーシップ基礎演習	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	41009	1	MA11A02E	リーダーシップ演習Ⅰ	演習	30	②	1		×	×	×	×	×	×	×	
	41012	2	MA22A01E	リーダーシップ演習Ⅱ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×	
	41010	2	MA23A01E	リーダーシップ演習Ⅲ	演習	30	②	2		×	×	×	×	×	×	×	
	41110	1	MA31A01E	経営演習Ⅰ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	41111	1	MA32A01E	経営演習Ⅱ	演習	30	②	3		×	×	×	×	×	×	×	
	41112	1	MA43A01E	経営演習Ⅲ	演習	30	②	4		×	×	×	×	×	×	×	
41113	1	MA44A01E	経営演習Ⅳ	演習	30	②	4	×	×	×	×	×	×	×			
専門基礎科目	41114	1	MA10C07K	行政学	講義	30	2	1～2	6単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○	
	41131	1	MA10C08K	企業倫理	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○	
	41072	2	MA11C03K	会社法Ⅰ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○	
	41073	2	MA12C04K	会社法Ⅱ	講義	30	2	1～2		○	○	○	○	○	○	○	
	41005	3	MA20B01K	経営学総論*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○	
	41047	3	MA10C02K	入門簿記論	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○	
	41028	3	MA20C06K	経営史	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○	
	40015	1	MA10C05K	ミクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○	
	40016	1	MA10C04K	マクロ経済学入門	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○	
	41008	1	MA20C05K	ビジネスリサーチ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○	
	41041	1	MA21B01K	マーケティング論Ⅰ*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○	
	41038	2	MA20B02K	ビジネスエコノミクス入門*	講義	30	②	2		○	○	○	○	○	○	○	
	41132	1	MA10C09K	データサイエンス基礎	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○	○	
	専門科目	戦略マネジメント系	41016	2	MA21C01K	経営戦略論Ⅰ	講義	30		2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○
41017			1	MA32C01K	経営戦略論Ⅱ	講義	30	2	3	○	○		○	○	○	○	○
41018			2	MA30C01K	経営組織論	講義	30	2	3	○	○		○	○	○	○	○
41020			2	MA20C02K	経営管理論	講義	30	2	2	○	○		○	○	○	○	○
41031			2	MA30C05K	ベンチャービジネス論	講義	30	2	3	○	○		○	○	○	○	○
41022			1	MA21C02K	人材マネジメント論Ⅰ	講義	30	2	2	○	○		○	○	○	○	○
41023			1	MA22C03K	人材マネジメント論Ⅱ	講義	30	2	2	○	○		○	○	○	○	○
41090			1	MA30C06K	国際経営論	講義	30	2	3	○	○		○	○	○	○	○
41071			2	MA20C07K	英語で学ぶ経営学入門	講義	30	2	2	○	○		○	○	○	○	○
41007			1	MA10C01K	キャリアデザイン	講義	30	2	1	×	×		×	×	×	×	×
ICTマネジメント系		41133	1	MA20C26K	中小企業経営論	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
		41019	3	MA30C02K	経営情報論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
		41127	1	MA30C20K	情報技術基礎	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
		41087	2	MA20C03K	情報システム論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
		41128	1	MA20C23E	情報システム演習	演習	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
		41088	2	MA20C04K	ITビジネス論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
		41129	1	MA30C21K	オペレーションズ・リサーチ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
		41026	3	MA30C03K	イノベーションマネジメント	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
		41027	2	MA30C04K	ビジネスプランニング	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
		41134	1	MA20C27K	Webビジネス	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○	○
マーケティング系		41135	1	MA20C28K	新技術とビジネス	講義	30	2	2	52単位以上選択	○	○	○	○	○	○	○
		41136	1	MA30C22K	デジタル広告	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○	○
	41042	1	MA22C03K	マーケティング論Ⅱ	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	○	
	41043	2	MA20C08K	流通システム論	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	○	
	41044	3	MA20C09K	流通経営論	講義	30	2	2	○		○	○	○	○	○	○	
	41045	1	MA30C07K	マーケティング戦略論	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	○	
	41094	1	MA31C02K	消費者行動論Ⅰ	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	○	
	41095	1	MA32C02K	消費者行動論Ⅱ	講義	30	2	3	○		○	○	○	○	○	○	

学科科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考	他所属学生の履修の可否						
										E	P	C	W	F	N	L
専門科目	会計・ファイナンス系	41048	3	MA10C03K	基礎簿記論	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○
		41049	3	MA20C10K	応用簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41050	3	MA20C11K	会社簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41003	1	MA11B01K	会計学入門Ⅰ*	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○
		41004	1	MA12C02K	会計学入門Ⅱ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○
		41051	1	MA21C03K	財務会計論Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41052	1	MA22C05K	財務会計論Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41059	3	MA30C11K	経営分析論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41055	3	MA20C12K	原価計算論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41056	3	MA20C13K	工業簿記論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41137	1	MA30C23K	監査論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41066	2	MA31C03K	租税論Ⅰ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41067	2	MA32C03K	租税論Ⅱ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41061	1	MA21C04K	ファイナンスⅠ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41062	1	MA22C06K	ファイナンスⅡ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
	地域・イノベーション系	41063	2	MA20C14K	金融論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41064	2	MA20C15K	国際金融論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41065	1	MA20C16K	証券市場論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41039	2	MA21C05K	ビジネスエコノミクスⅠ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41101	1	MA32C04K	ビジネスエコノミクスⅡ	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41102	2	MA20C29K	国際経済論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41036	4	MA30C18K	公共経済論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41138	1	MA20C30K	地域経済論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41034	2	MA30C04K	地域産業経営論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41035	2	MA30C24K	地域づくり論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41120	1	MA30C14K	観光ビジネス論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41098	2	MA30C15K	地域ブランド論	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41139	1	MA30C25K	環境ビジネス	講義	30	2	3		○	○	○	○	○	○
		41085	3	MA20C19K	公共経営論	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
	ビジネス・コミュニケーション系	41068	1	MA11C02K	ビジネスコミュニケーションⅠ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○
		41069	1	MA12C03K	ビジネスコミュニケーションⅡ	講義	30	2	1		○	○	○	○	○	○
		41070	2	MA20C20K	外書講読	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41104	1	MA20C21K	ビジネス英語	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41105	1	MA30C17K	時事英語	講義	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		41076	2	MA10C06K	TOEFL/TOEIC集中講座	講義	30	2	1		×	×	×	×	×	×
	フタデ・イールド系	41106	1	MA20C22E	グローバルビジネス演習	演習	30	2	2		×	×	×	×	×	×
		41107	1	MA30C18E	地域マネジメント演習	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
		41108	1	MA30C19E	地域インターンシップ	演習	30	2	3		×	×	×	×	×	×
	特別講義	41079	1	MA21C06K	経営特講Ⅰ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41080	1	MA22C07K	経営特講Ⅱ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41081	1	MA23C01K	経営特講Ⅲ	講義	30	2	2		○	○	○	○	○	○
		41109	1	MA40C01S	卒業研究			4	4		×	×	×	×	×	×

*は選択必修科目。指定4科目（8単位）から2科目（4単位）以上を選択。

他所属学生の履修の可否は、カリキュラム表に記載されており、○が付いているものは基本的に履修が可能である。ただし、授業内容と授業形式によっては人数に制限があるため、担当教員の了解を受ける必要がある。

なお、履修登録できない科目のほとんどは、①同種の科目が所属カリキュラムにある場合か、②必修の科目等で他所属学生を受け入れる余地がない場合に当てはまる。

2. 授業科目、単位数および履修規程

〔未来教養学環〕

履修に関しては次のことに注意すること。

1. 単位数を囲む○印は必修科目を示す。
2. 単位数を囲む□印は選択必修科目を示す。
3. 各授業科目は、それぞれ固有の科目コードを持つ。
4. 1年間に登録できる単位数は、卒業要件に関わる科目が50単位未満で、総単位数は60単位以内とする。

＜未来教養学環＞

(1) 全学教養科目

2024年度～

学科目	科目コード	科目明細	科目ナンバリング	授業科目	授業形式	授業時間数	単位数	配置年次	修得単位・備考
建学の精神	10050	1	LA11A01K	キリスト教の精神と文化Ⅰ	講義	30	②	1	6単位必修
	10051	1	LA12A01K	キリスト教の精神と文化Ⅱ	講義	30	②	1	
	10052	1	LA33A01K	キリスト教の精神と文化Ⅲ	講義	30	②	3	
現代教養	10117	2	LA10C01K	歴史学	講義	30	2	1～4	14単位以上選択 (各区分2単位以上)
	10140	1	LA10C02K	地域を学ぶ	講義	30	2	1～4	
	10141	1	LA10C03J	コミュニティで学ぶ	実習	60	2	1～4	
	10133	1	LA10C04K	共に生きる	講義	30	2	1～4	
	10121	1	LA10C05K	美と芸術の歴史	講義	30	2	1～4	
	10114	2	LA10C06K	教育学	講義	30	2	1～4	
	10111	2	LA10C07K	倫理学	講義	30	2	1～4	
	10131	2	LA10C08K	教育と人権	講義	30	2	1～4	
	10036	1	LA10C09K	日本国憲法	講義	30	2	1～4	
	10134	1	LA10C10K	ジェンダーの現在	講義	30	2	1～4	
	10113	2	LA10C11K	心理学	講義	30	2	1～4	
	10162	1	LA10C12K	社会福祉学	講義	30	2	1～4	
	10116	1	LA10C13K	対人関係の心理学	講義	30	2	1～4	
	10115	1	LA10C14K	カウンセリングとメンタルヘルス	講義	30	2	1～4	
	10144	2	LA10C15K	生命科学	講義	30	2	1～4	
	10147	1	LA10C16K	食といのち	講義	30	2	1～4	
	10163	1	LA10C17K	食と文化	講義	30	2	1～4	
	10164	1	LA10C18K	栄養と食生活	講義	30	2	1～4	
	10165	1	LA10C19K	看護学	講義	30	2	1～4	
	10146	2	LA10C20K	ライフサイクルと健康	講義	30	2	1～4	
	10145	1	LA10C21K	生命倫理	講義	30	2	1～4	
	10135	1	LA10C22K	家族を考える	講義	30	2	1～4	
	10128	2	LA10C23K	経済学	講義	30	2	1～4	
	10136	2	LA10C24K	貨幣論	講義	30	2	1～4	
	10130	1	LA10C25K	国際経済と暮らし	講義	30	2	1～4	
	10139	1	LA10C26K	時事問題研究	講義	30	2	1～4	
	10127	2	LA10C27K	グローバリゼーションを考える	講義	30	2	1～4	
	10148	1	LA10C28K	地球環境と人間	講義	30	2	1～4	
	10150	1	LA10C29K	災害と人間	講義	30	2	1～4	
	10151	1	LA10C30K	科学技術の現在	講義	30	2	1～4	
	10153	2	LA10C31K	宇宙の探究	講義	30	2	1～4	
言語 コミュニケーション	10058	1	LA11B01E	総合英語Ⅰ	演習	30	①	1	8単位必修
	10059	1	LA12B01E	総合英語Ⅱ	演習	30	①	1	
	10060	1	LA23B01E	総合英語Ⅲ	演習	30	①	2	
	10061	1	LA24B01E	総合英語Ⅳ	演習	30	①	2	
	10062	1	LA35B01E	総合英語Ⅴ	演習	30	①	3	
	10063	1	LA36B01E	総合英語Ⅵ	演習	30	①	3	
	10054	1	LA11B02E	英語コミュニケーションⅠ	演習	30	①	1	

学科目		科目 コード	科目 明細	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形式	授業 時間数	単位数	配置 年次	修得単位・備考
言語 コミュニ ケーション	英語	10055	1	LA12B02E	英語コミュニケーションⅡ	演習	30	①	1	}
		10056	1	LA23B02E	英語コミュニケーションⅢ	演習	30	①	2	
		10057	1	LA24B02E	英語コミュニケーションⅣ	演習	30	①	2	
	英語以外	10065	1	LA11B03E	ドイツ語ⅠA	演習	30	①	1	同一言語6単位 必修
		10066	1	LA12B03E	ドイツ語ⅡA	演習	30	①	1	
		10067	1	LA11B04E	ドイツ語ⅠB	演習	30	①	1	
		10068	1	LA12B04E	ドイツ語ⅡB	演習	30	①	1	
		10069	1	LA23B03E	ドイツ語ⅢA	演習	30	①	2	
		10070	1	LA24B03E	ドイツ語ⅣA	演習	30	①	2	
		10071	1	LA23C02E	ドイツ語ⅢB	演習	30	1	2	
		10072	1	LA24C02E	ドイツ語ⅣB	演習	30	1	2	
		10073	1	LA11B05E	フランス語ⅠA	演習	30	①	1	
		10074	1	LA12B05E	フランス語ⅡA	演習	30	①	1	
		10075	1	LA11B06E	フランス語ⅠB	演習	30	①	1	
		10076	1	LA12B06E	フランス語ⅡB	演習	30	①	1	
		10077	1	LA23B04E	フランス語ⅢA	演習	30	①	2	
		10078	1	LA24B04E	フランス語ⅣA	演習	30	①	2	
		10079	1	LA23C04E	フランス語ⅢB	演習	30	1	2	
		10080	1	LA24C04E	フランス語ⅣB	演習	30	1	2	
		10081	1	LA11B07E	中国語ⅠA	演習	30	①	1	
		10082	1	LA12B07E	中国語ⅡA	演習	30	①	1	
		10083	1	LA11B08E	中国語ⅠB	演習	30	①	1	
		10084	1	LA12B08E	中国語ⅡB	演習	30	①	1	
		10085	1	LA23B05E	中国語ⅢA	演習	30	①	2	
		10086	1	LA24B05E	中国語ⅣA	演習	30	①	2	
		10087	1	LA23C06E	中国語ⅢB	演習	30	1	2	
		10088	1	LA24C06E	中国語ⅣB	演習	30	1	2	
		10089	1	LA11B09E	コリアンⅠA	演習	30	①	1	
		10090	1	LA12B09E	コリアンⅡA	演習	30	①	1	
		10091	1	LA11B10E	コリアンⅠB	演習	30	①	1	
		10092	1	LA12B10E	コリアンⅡB	演習	30	①	1	
		10093	1	LA23B06E	コリアンⅢA	演習	30	①	2	
		10094	1	LA24B06E	コリアンⅣA	演習	30	①	2	
		10095	1	LA23C08E	コリアンⅢB	演習	30	1	2	
		10096	1	LA24C08E	コリアンⅣB	演習	30	1	2	
		10097	1	LA10C32E	その他の外国語A	演習	30	1	1	
		10098	1	LA10C33E	その他の外国語B	演習	30	1	1	
		10101	2	LA10C34E	外国語としての日本語A	演習	30	1	1～4	外国において中 等教育を受けた 学生にのみ適用
		10102	2	LA10C35E	外国語としての日本語B	演習	30	1	1～4	
		10103	2	LA10C36E	外国語としての日本語C	演習	30	1	1～4	
		10104	2	LA10C37E	外国語としての日本語D	演習	30	1	1～4	
	10105	2	LA10C38E	外国語としての日本語E	演習	30	1	1～4		
	10106	2	LA10C39E	外国語としての日本語F	演習	30	1	1～4		
	10107	2	LA10C40E	外国語としての日本語G	演習	30	1	1～4		
	10108	2	LA10C41E	外国語としての日本語H	演習	30	1	1～4		
	留学	10031	1	LA10C42J	海外語学研修A	実習	120	4	1	
		10032	1	LA20C01J	海外語学研修B	実習	120	4	2	
10033		1	LA10C43J	海外語学研修C	実習	60	2	1		
10034		1	LA20C02J	海外語学研修D	実習	60	2	2		
10048		1	LA10C44J	海外文化研修	実習	60	2	1～4		
10035		2	LA10C45J	異文化体験	実習	60	2	1～4		
10049		1	LA10C46K	留学生のための日本学基礎	講義	30	2	1～4		
データサイエンス	10044	1	LA11C01E	コンピュータ基礎Ⅰ	演習	30	2	1	4単位必修	
	10045	1	LA12C01E	コンピュータ基礎Ⅱ	演習	30	2	1		
	10046	2	LA20C03E	コンピュータ実習	演習	30	2	2		
	10137	2	LA11A02K	データサイエンスⅠ	講義	30	②	1～4		
	10166	1	LA12A02E	データサイエンスⅡ	演習	30	②	1～4		
	10152	1	LA10C47K	はじめての統計学	講義	30	2	1～4		
		10167	1	LA20C04E	はじめてのプログラミング	演習	30	2	2～4	

茨城キリスト教大学データサイエンス教育プログラム 取組概要

■プログラム導入の目的

ITリテラシーを培う人材の確保は、地域企業としても喫緊の課題となっている。本プログラムを機能させることで、地域が求める人材を本学から輩出し、地域に開かれた大学として貢献していく。

■本プログラムを通して学修できる内容

- データから価値を創出する一連の課程に関する基礎知識
- 数理・データサイエンス・AIが、社会変化に深く寄与しているものであり、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るものであること
- 活用にあたって必要となる情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項
- 「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法

■データサイエンスに関連する科目群

【必須の学修内容を含む科目】

- データサイエンスⅠ（経営学科はデータサイエンス基礎）
- データサイエンスⅡ

【関連する学修内容を含む科目】

- はじめての統計学
- 教育統計学
- 心理学統計法
- 栄養統計処理
- 保健統計
- 情報技術基礎
- 情報システム演習
- オペレーションズ・リサーチ

科目	主な内容
データサイエンスⅠ （経営学科はデータサイエンス基礎）	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルを体系的に扱い学ぶ。
データサイエンスⅡ	数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度のリテラシーレベルの応用的内容として、Excel基本操作から統計量について、データの関係性から線型回帰、時系列分析までを学ぶ。
はじめての統計学	どのような領域においても共通する統計学の基礎について、演習を取り入れながら解説する。
教育統計学/ 心理学統計法/ 栄養統計処理/ 保健統計	児童教育学科、心理福祉学科、食物健康科学科、看護学科の専門性と連動した統計処理の基礎と、その活用について学ぶ。
情報技術基礎	社会におけるIT利活用の動向を主に取り扱い、情報技術を活用する上でもって欲しいITに関する一般教養を学ぶ。
情報システム演習	今後DXが進展していく中で対応していくために、業務の自動化として注目されているRPAの利用、CMSを活用したWebサイト作成について学ぶ。
オペレーションズ・リサーチ	問題の中には、科学理論と経験則を組み合わせることで、解決できる事柄も多くある。数学モデルによる意思決定の方法や問題解決の方法について学ぶ。